SEPTEMBER 10, 1921. NO. 7843

The Japanese American News

第七千八百四十三號 (土) 大正拾年九月十日

Published and distributed under permit (No. 173) authorized by the Act of October 6, 1917, on file at the Post Office of San Francisco, California. By order of the Postmaster General, A. S. Burleson, Postmaster General.

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
550 ELLIS STREET,
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA.
PHONE PROSPECT 236
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER.
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS
BRANCHES
DENVER, FRESNO, LOS ANGELES, NEW YORK, OAKLAND, OGDEN, PORTLAND, SACRAMENTO, STOCKTON, SAN JOSE, SALT LAKE, SEATTLE, VACAVILLE, WATSONVILLE.

日米

勞働諒解 具體化を望む

層必要とし、一層痛切とす。此邊の事情は東部太西洋沿岸に在る日本人の想像する能はざるべき異なれる境遇なるを、先づ第一に念頭に置くを必要とす。從て西部米國に於ける邦人勞働者の問題は排斥を如何に緩和し、如何に改善すべきかを目標として解決し行くべき外無し。即ち白人勞働者の賃銀よりも低廉なる賃銀にて働くことは、勞働者の地位を危くするものなりといふよりも、之によりて排斥が高まるが故に爲す勿れといふを有功とす。純勞働問題として見れば之は不合理、不徹底なる主張なれど、特別の境遇に在る同胞として之れ亦已むを得ざるなり。賃銀等の勞働問題につき、一般白人、特に勞働組合等と、常に聯絡を保ち、協定する處ありて諒解をつくるといふことは、少くとも白人勞働組合の反感を去り批難を免かれ得て、排斥を緩和する一手段なりと考へて、此点にも非ず、同地の重なる市民の歳策にて決行せられたる次第にて、賃銀問題は單なる口實に利用せられたるに過ぎずとの事なり。事實或は然るべし思はるる諸情報が、事件勃發當時にも傳へられ、裁判の經過にも思ひ當る事あれど、兎も角も口實にも賃銀問題あり、排日協會其他は此點を力説して、間接に暴動の辨護を爲し、事情に通ぜざる第三者の批評も主として此點に攻撃を集中して被害者たる同胞側を批難するか多き程なれば、將來の爲めにも此口實を除き去るを必要とす。批評家の繰返しする所の同胞勞働者の所謂無自覚は、或程度まで吾人の首肯せざる可からざる所なるも然るに階級的に勞働者たるの自覚を有し、階級的に其地位の向上を圖る必要を痛切に感せず、寧ろ一日も速かに勞働者たるの地位を脱して、小資本家となり又は少くとも獨立事業の經營を志すものとも取るべき、所謂自覚は必ずしも多くの意義を爲す意義の乏しき所に努力も發憤も伴はざる次第なれば、寧ろ他の方面より導くの實なるを思はずんばあらず。加州及び西部米國一帶に於ては、資本家對勞働者といふよりも、白人對日本人といふ対抗の方一層強烈なる色彩を有す。從て邦人勞働者は勞働者たる地位の改善、向上を圖る前に、一般白人より排斥を蒙る日本人としての地位の防衛を一層必要とし、一層痛切とす。此具體化せんことを希望するものなり。

米國の民衆外交

英字紙を通じて吾人の眼に映ぜる米國人の露國窮民に對する同情と、衣類、食料施與は甚だ盛んなり。實際に行はるる程度は確かなるも、米國人の民衆外交に巧妙なるは敬服に値す。米國政府は過激主義に絶對反對なるに拘はらず、一般市民は露國民の窮狀に與し限りの援助を惜まず、斯の如くして將來露國通商の大部分を獲得するは米國なるべし。

代表一行二百名

華府軍備縮少會議に出席する日本代表並に隨員は總勢二百名に上るとの報あり。威勢の好き事なるかな。諸員皆會議に列し多數決にて事を決するとせば恐らくは日本の向ふ所敵なく、其主張は悉く貫徹するなるべし。然れども是御門違ひなるを如何せん。日本政府の對東洋並に軍備根本政策除米大政治家を首として、一般市民は露國窮民に對する同情と、衣類、食料施與は甚だ盛んなり。實際に行はるる程度は確かなるも、米國人の民衆外交に巧妙なるは敬服に値す。米國政府は過激主義に絶對反對なるに拘はらず、一般市民は露國民の窮狀に與し限りの援助を惜まず、斯の如くして將來露國通商の大部分を獲得するは米國なるべし。

埴原次官華府出席

▽留守中松井大使次官職掌

外務次官埴原正直氏は華府會議に出席すべく決定せり、同次官留守中は無任所特命全權大使松井慶四郎男次官の職務を執掌すと

外務隨員顔振決定

外務省より華府會議代表隨員の顔振れ左の如く決定せり

松平恒雄（大使館參事官）
青木信光（外務書記官）
高尾亨（總領事）
白鳥敏夫（大使館三等書記官）
澁沢勝次（獨逸大使館參事官）
木村鋭市（外務書記官）
德川家正（公使館一等書記官）

政務局長代理なる松平氏

外務省より華府會議へ出席の隨員は政務局長芳澤謙吉氏の代りとして大使館參事官松平恒雄氏出席すべく臨時平和條約事務局部長法學博士山川端夫氏の出席も決定せり

極東調査係電報（九月九日聯合通信）

日本外務省の活動

▽未解決三大外交問題を解決のため

日本外務省は華府軍縮會議前未解決三大重要外交問題即ちヤップ、山東、西伯利問題を解決せんと全力を傾倒して活動中なり。問題は既に交渉濟みなるも尚は各國の同意に於ける權利は未解決の儘なり山東問題に關しては小幡公使還付條件を支那政府に回附し交渉を待ちつゝあり。國民新聞は之れ日本政府の最後通牒を意味し支那政府に直接交渉の機會を與ふるものなりと論じたり（東京發）

大禮ヤップ解決案に同意

▽未解決三大外交問題を解決のため

日本外務省は華府軍縮會議前未解決三大重要外交問題即ちヤップ、山東、西伯利問題を解決せんと全力を傾倒して活動中なり。問題は既に交渉濟みなるも尚は各國の同意に於ける權利は未解決の儘なり山東問題に關しては小幡公使還付條件を支那政府に回附し交渉を待ちつゝあり。國民新聞は之れ日本政府の最後通牒を意味し支那政府に直接交渉の機會を與ふるものなりと論じたり（東京發）

米國代表四氏の正式任命

米國政府は正式に軍縮會議米國代表者としてアンダーウッド上院議員エリフ・ルート、ヒューズ國務卿及びロッジ上院議員の四氏を任命した

軍縮會議書記官長候補者

軍備縮小會議書記官長として費市出身のジョージ・ワートン・ペッパー氏任命の噂あり

歐洲新情勢電報（九月九日聯合通信）

委任統治米國反對

▽各國政府に致せる抗議内容

米國は國際聯盟決定の委任統治に反對なるは久しき間の問題なるが米國政府の最近聯盟各國政府に致せる抗議はゼネバに參集せる聯盟各國代表者に本國政府より移牒せられたる大要左の諸點を主張し抗議せり（一）米國は再び當獨領所分に參與の權利あり（二）委任統治地に於ける同等權利あり（三）委任統治地は米國の承諾なくして變更すべからず（四）米國は土耳古と開戰せず故に土領所分には容喙せず然れども米國獨逸と開戰せざりしなれば土國敗戰は不可なりし（ジュネバ發）

南米諸國新國際同盟贊成

米國大統領ハーディング主唱となりて新國際聯盟を組織するに到らば南米コロンビヤは進んで加入すべし左は國際聯盟にコロンビヤを代表せるレスマレボ氏の聲明なるが其理由は亞爾然下の提出修正なる總て獨立國は皆國際聯盟に加入すべしとの意見採用するの所ならざりしが爲なり（ジュネバ發）

憲章第十條削除提議否決

國際聯盟委員會は加奈陀代表の提出せる憲章第十條削除動議を否決せり然れども委員會は同條項は現存の政治的境界を永久保存の意味にあらず單に軍隊を使用して攻略に出ずるを防止する目的にて聯盟各國の軍隊援助を強要する所なしとの説明的決議を通過せり（ゼネバ發）

第一回賠償金分配法反對

獨逸支拂ひの第一回償金十億萬馬克分配法は經濟上適當の方策なるべきも佛國民は是に不滿足なり此件交渉の任務を帶び佛國大蔵大臣渡英せり十億万馬克中五億五千萬マークは白耳義に四億五千萬マークは英國に分配するが決定せるが英國支拂額はライン河畔駐屯軍費用にて賠償金中より支拂ふべき費用にあるものは佛國反對理由なり（巴里發）

獨逸紙幣の暴落

昨日紐育に於ける獨逸マーク紙幣は暴落して一仙となり最低記録を造れり是迄の最低は昨年一月の一〇四仙にして金貨マークの換算は二十三仙五分四なり暴落の原因は最近獨逸が紙幣を増發せることを重もなるものとす

獨逸の紙幣增進

獨逸は八月下旬新紙に約三千億マークの紙幣を發行したり現在流通せる紙幣と合算すれば約八百億マークに達する譯にて是迄の最高記録を爲す其爲め株式

流通貨幣高減少

七日發刊の大藏省月報によれば八月一日の每人口流通貨幣高は五十三弗四十一仙となりて五十九仙の減少となれりと（華府發）

デ黨員減税反對

ネブラスカ選出上院議員ヒッチコック氏は過剰利得税の廢止及び所得税減率の提案に反對のステートメントを去る九日議會に提出せり

海軍勞働者不平

海軍造船所鉄働者は海軍卿デンビー氏の發表せる一割五分平均の減給を撤回せしむべく大統領ハーディング氏に訴ふべしと云ふ（紐育發）

希軍退却損害多

▽カリアル戰場の右翼軍は十日間土軍と戰鬪を繰續したりしが損害夥しく退却の已むなきに至れり希軍の負傷者は一萬人に達せり（コンスタンチノープル發）

英蘭平和の曙光

愛蘭土シンフィン黨内閣は本日午後閣議を開き英國内閣の平和提案について熟議する所あり來る水曜日の愛蘭土議會の秘密會議を開催して英國回答を議せん愛蘭人は英國の各種の平和條件を撤去せしめを喜び唯一の條件なる獨立共和國樹立反對について特に強硬主張する所なかるべし大體より論じて愛蘭人は前途に平和の曙光を認む（ダブリン發）

英佛獨對露活動

先日英國資本家に接近し英獨合同資本にて露國の富源を開拓すとの了解を結びたる獨逸財界の魔王スチンネス氏は英獨財閥に佛國を加へたりと稱せられたり（巴里發）

法王廳旅券發給

伊太利政府は羅馬法王に旅券を發し得べしとの告白を爲せり右は一見些細なるかの如く見らるゝが政治的意義深し（羅馬發）

米國支那に勸告す

▽山東問題を華府會議に速決せよ

米國政府は華府會議開會前に山東問題を解決すべき事を支那政府に勸告せり（前電に引れば支那政府は華府會議まで山東問題を解決せずと云へり）

加藤海相代表受諾

加藤海相首席代表

海軍大臣加藤友三郎大將は華府會議代表として渡米する事を受諾せり

東京諸新聞の報道に依れば加藤海軍大臣は華府會議首席代表たるべし

田中中將陸軍代表

陸軍代表として前參謀本部第二部長田中國重中將の華府行決定

本社東京特電（九月九日午後一時着電）

山東還附條件詳報

▽七日小幡公使北京政府に回附

小幡駐支公使は七日支那政府に對し山東半島還附の條件を提示すべし

（一）日本政府は膠州灣租借地及び中立地帶を還附すべし

（二）若し支那政府にして全租借地を公開すれば日本專管居留地をも還附すべし

（三）山東半島の鐵道及び鑛山の經營は日支合辦とすべし

（四）山東鐵道新借款を擴大すべし

（五）支那政府が山東の安寧秩序を維持するに完全なる警察權を行使するに到らば日本政府は駐屯軍全部を撤退すべし

（六）支那は商業及び居住の爲め山東半島の商業都市を外國人に公開すべし

◇華盛頓會議の由來

＝會議の經過及び將來如何

（主）前代議士 森田小六郎（寄）

日米兩國の主張

▼米國の主張、太平洋會議に於て米國の主張は左の六點に在りと察せらる

一、支那に於ける門戸開放及機會均等に關する問題に對する門戸開放及機會均等に關する問題は既に何れの國とも有効なる條約を結ばれたるを以て之れ等條約の權能を新に特別協約を以て確認する事

二、各國聯合財團に依つて對支借款以外に支那の行政に關與し若くは勢力の條件を附する如き借款を禁止する協約

三、日英同盟條約及石井ランシング協約は之を廢棄する

四、外國政府に支那に於て領土の保全を爲すこと、又支那の政治に干渉せざること

五、西比利亞の領土を保全すること、又西比利亞に於て門戸開放及機會均等の原則を實行すること

六、山東問題及ヤップ島問題其他南洋諸島に關する一般委任統治の問題に對して協議すること

▼日本の苦境、此等は米支對帝國間に於ける極めて重要なる問題に對する日本の主張は如何と云ふに、

▼太平洋上の大問題たる墨西哥問題及び米多年の懸案たる移民問題等に就て、米國に對して肉薄する順序になるであらう、然し日本が此逆襲的態度を執つて進む前に從來の對支外交反對、西比利亞政策に就て米支兩國より攻撃せられて日本の立場を明にして參戦國の諒解を求める爲に相當に苦しき防戦をしなければならぬ。

たものである、幸に日露開國の共同抗議に依つて之を一蹴し去つたけれども、元來米國が此提案を爲すに就ては我國に於て之が誘因を作つたものと推せらるゝ事情あり、米國自體は不信の日本の元老政治家及一部先覺の實業家の爲めに裏切られて居るのを見て、再び南滿鐵道問題を提げて復讐を試みるやも知れない、問題は多岐に亘り悉く攻撃に出で來るであらふ、之に對する

▼日本の主張は如何と云ふに、

一、太平洋及極東問題に於て米國主義政策の原則に異議なき所に依れば

二、極東に對する主義政策の原則確立に伴ひ、帝國政府は太平洋沿岸の門戸開放、機會均等主義の徹底を期すべく、積極的方針を支持し、之が必然の結果として移民問題の解決を求むること

三、ヤップ島委任統治問題並に山東問題は巴里の講和會議に於て決定したるものなれば斷じて之を再議せざること

四、軍備制限問題に就いては帝國々防の最低限度を變更せざして出來得る限り協定し、且つ太平洋の警備區域に付ても協定を辭せざること

▼主張の懸隔、日米兩國の主張は支那及西比利亞の領土保全門戸開放、機會均等主義を徹底せんが爲めに、帝國の既得權利を擲棄を要せらるゝことあらば、遺憾ながら之に反對すること

▼日米兩國の主張、太平洋會議に於て米國の主張は左の六點に在りと察せらる

一、支那に於ける門戸開放及機會均等に關する問題は既に何れの國とも有効なる條約を結ばれたるを以て之れ等條約の權能を新に特別協約を以て確認する事

二、各國聯合財團に依つて對支借款以外に支那の行政に關與し若くは勢力の條件を附する如き借款を禁止する協約

三、日英同盟條約及石井ランシング協約は之を廢棄する

四、外國政府に支那に於て領土の保全を爲すこと、又支那の政治に干渉せざること

五、西比利亞の領土を保全すること、又西比利亞に於て門戸開放及機會均等の原則を實行すること

六、山東問題及ヤップ島問題其他南洋諸島に關する一般委任統治の問題に對して協議すること

▼日本の苦境、此等は米支對帝國間に於ける極めて重要なる問題に對する日本の主張は如何と云ふに、

▼太平洋上の大問題たる墨西哥問題及び米多年の懸案たる移民問題等に就て、米國に對して肉薄する順序になるであらう、然し日本が此逆襲的態度を執つて進む前に從來の對支外交反對、西比利亞政策に就て米支兩國より攻撃せられて日本の立場を明にして參戦國の諒解を求める爲に相當に苦しき防戦をしなければならぬ。

●和蘭白耳義軍縮參加希望

和蘭白耳義兩國は華府軍備縮小會議に加入し自國利權に關係ある條項討議を希望し來りたるが米國國務卿は已に正式參加を通知せる日英佛伊四ケ國に右兩國參加に對し異議の有無を照介中なり四强國賛意を表せば和蘭白耳義兩國を招待すべし

●米國代表者四名乎

大統領は九月二日付にてアラバマ選出デモクラット黨下院議員ジュアアス氏の質問に答へたる書面にて左の如く述べたり以前官職にありたる人を軍縮會議に列せしむることは代表者の人員に制限のあること及び議事進行上必要なる報告を徴集する爲めにも現職にありて專心事務に沒頭せる者より選むを得策なり尚會議に出席すべき代表者は極小數にて多分四名を超わざるべしと

●第一回賠償金分配法反對

獨逸支拂ひの第一回償金十億萬馬克分配法は經濟上適當の方策なるべきも佛國民は是に不滿足なり此件交渉の任務を帶び佛國大蔵大臣渡英せり十億万馬克中五億五千萬マークは白耳義に四億五千萬マークは英國に分配するが決定せるが英國支拂額はライン河畔駐屯軍費用にて賠償金中より支拂ふべき費用にあるものは佛國反對理由なり（巴里發）

●憲章第十條削除提議否決

國際聯盟委員會は加奈陀代表の提出せる憲章第十條削除動議を否決せり然れども委員會は同條項は現存の政治的境界を永久保存の意味にあらず單に軍隊を使用して攻略に出ずるを防止する目的にて聯盟各國の軍隊援助を強要する所なしとの説明的決議を通過せり（ゼネバ發）

●南米諸國新國際同盟贊成

米國大統領ハーディング主唱となりて新國際聯盟を組織するに到らば南米コロンビヤは進んで加入すべし左は國際聯盟にコロンビヤを代表せるレスマレボ氏の聲明なるが其理由は亞爾然下の提出修正なる總て獨立國は皆國際聯盟に加入すべしとの意見採用するの所ならざりしが爲なり（ジュネバ發）

●軍縮會議書記官長候補者

軍備縮小會議書記官長として費市出身のジョージ・ワートン・ペッパー氏任命の噂あり

歐洲新情勢電報（九月九日聯合通信）

●委任統治米國反對

▽各國政府に致せる抗議内容

米國は國際聯盟決定の委任統治に反對なるは久しき間の問題なるが米國政府の最近聯盟各國政府に致せる抗議はゼネバに參集せる聯盟各國代表者に本國政府より移牒せられたる大要左の諸點を主張し抗議せり（一）米國は再び當獨領所分に參與の權利あり（二）委任統治地に於ける同等權利あり（三）委任統治地は米國の承諾なくして變更すべからず（四）米國は土耳古と開戰せず故に土領所分には容喙せず然れども米國獨逸と開戰せざりしなれば土國敗戰は不可なりし（ジュネバ發）

●希軍退却損害多

▽カリアル戰場の右翼軍は十日間土軍と戰鬪を繰續したりしが損害夥しく退却の已むなきに至れり希軍の負傷者は一萬人に達せり（コンスタンチノープル發）

●英蘭平和の曙光

愛蘭土シンフィン黨内閣は本日午後閣議を開き英國内閣の平和提案について熟議する所あり來る水曜日の愛蘭土議會の秘密會議を開催して英國回答を議せん愛蘭人は英國の各種の平和條件を撤去せしめを喜び唯一の條件なる獨立共和國樹立反對について特に強硬主張する所なかるべし大體より論じて愛蘭人は前途に平和の曙光を認む（ダブリン發）

●英佛獨對露活動

先日英國資本家に接近し英獨合同資本にて露國の富源を開拓すとの了解を結びたる獨逸財界の魔王スチンネス氏は英獨財閥に佛國を加へたりと稱せられたり（巴里發）

●法王廳旅券發給

伊太利政府は羅馬法王に旅券を發し得べしとの告白を爲せり右は一見些細なるかの如く見らるゝが政治的意義深し（羅馬發）

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
415-429 Sansome St., San Francisco, Cal.
P. O. Box 3125 Tel. Kearny 1396

横濱正金銀行 桑港支店
資本金一億圓 積立金五千八百萬圓
預金總額五億五千七百萬圓
外國爲替預金建金貸附割引等一般銀行業務一切
郷里送金 日本全國何レノ地ヘモ無手數料

日本御料理 小川ホテル
桑港カリホルニア街六一二 電話カネー一八一六

桑港パイン街五五一 551 Pine St., S. F. Cal.
サーフィルド二一八一 帝國ホテル
日本行汽船切符販賣

日本行汽船切符御申込に應ず
羅府東第一街三三一半 みかどホテル
3314 E. First St., Los Angeles, Cal.
日本行汽船切符取扱(電話)一一七〇四

ステンゼルス市東第二街三〇五(電話一二八六七)
食堂、自動昇降機、スチームヒーター等最新設備
Hotel New York 305 E. 2nd St., L. A. Calif.
ホテル ニューヨーク

ステンゼルス市東一街一二九番(電話一五一五九)
日本行汽船切符代理店
各宮、渡、水、スタイーム、ヒーター等最新設備完全
イーグルホテル

青木大成堂
1601 Geary St., Tel. West 5361
San Francisco, Cal.

東宮御渡歐記 三、五〇
理想主義と現代文化 二、八〇
性の原理 三、八〇
道理 二、〇〇
開戰夢物語 二、四〇

THE SUMITOMO BANK, LTD.
(COMMERCIAL)
315-319 California St. San Francisco, Calif.
Tel. Sutter 196

株式會社 住友銀行
一本國特別定期預金(利息目下年五分二厘)
從來大藏省及び銀行の當行各店にて特別小口當座預金を御預り出來ぬ者となりましたが、それで今回特別小口當座預金の名稱を特別定期預金と改め大正十年一月一日より當行何れの店にても御預り出來る事と致しましたから精々御預入を御願申します

北米の五車 Tel. West 5488
1698 Post St., S. F. Calif.

近代劇大觀
▼眼射に現代の一書甲々位と其の夢幻を忘にさしむる(二二〇)
▼所々飛寫す日本刻下の男女書年の雄傳を知るには本書を讀め
▼し聯す全篇千三百頁恐く世界的名劇の邪禪を収む
宮森麻太郎著

戀の哀史
▼澁田博士の一人旗の自殺の經路を實寫したる唯一の書物
▼十三歳に戀十八歳の自殺の經路を實寫したる唯一の書物(一、二〇)
大譯米造著

殺人鬼
▼近來日本に起つた各種殺人事件を平易な文にて描く(一、二〇)
▼入江三郎大米龍雲等の兇惡物語を赤裸々に書く
水嶋尺草著

手紙の泉
▼直ぐ書ける新しい手紙の泉は是れに限ります
▼日本のそれ友達に手紙を書くには是れ又本書なり
佐々木主潮著

悩ましき春
加藤武雄著

◆軍備縮小會議と日本政府の無定見

大同團結を作れ

房州船形にて 大石正巳氏談

▲太平洋會議に對する成案なし

太平洋會議に關する處置一切は國民は政府に一任して可いかと云ふに決して可いとは言へぬ然るに國民の多數が現内閣は多數の輿論を有し基礎が鞏固だから之れに一任して置いても成功するものゝ如く信じて默つて居るのは其の思慮に乏しき驚かざるを得ない現内閣の外交的手腕は曩の巴里講和會議で解つて居る通り無方針無定見で國家の使命を全うし能はず國威を失墜し國家の面目を傷つけて居る斯く失敗の歴史こそあれ成功の事蹟は一もない政府に國民は重大なる▲太平洋會議を一任して默つて居る事は出來ない筈である又其の失敗を豫期しながら默つて見て居る在野黨は無責任と云はざるを得ない元來現内閣は太平洋會議に對しまだ何等の準備もして居ないぢやないか大使の任命さへも出來ず如何なる事を主張し若くは爲すべきかにつき一の腹案さへ無いらしいぞ政府が今日迄に爲した殖産の巴里講和會議で解つて居る通り無方針無定見で國家の使命を全うし能はず國威を失墜し國家の面目を傷つけて居る斯く失敗の歴史こそあれ成功の事蹟は一もない政府に國民は重大なる▲太平洋會議を一任して默つて居る事は出來ない筈である又其の失敗を豫期しながら默つて見て居る在野黨は無責任と云はざるを得ない元來現内閣は太平洋會議に對しまだ何等の準備もして居ないぢやないか大使の任命さへも出來ず如何なる事を主張し若くは爲すべきかにつき一の腹案さへ無いらしいぞ政府が今日迄に爲した殖産ど唯一の事業は米國に對して會議の性質範圍とやら解り切つた事を問合せて世界環視の裡に赤恥を掻いた位の事だ最初から之れは明かだらけ之を如何にすべきか

▲失敗は明々白々ではないか然らば之を如何にすべきか

▲内閣を打破するまでの決心なくば何れにしても此の外に途はない何れにしても此の重大問題に對し拱手傍観して居るのは大なる間違ひだ東京市疑獄事件から察した社會の腐敗は殆んど想像以上だ尠くとも國家は内から土崩瓦解する國家の危機は是より大なるはない然らば此の國家の危機を如何にして救済すべきかと云ふに現に綱紀が弛緩し人心が荒廃し人心の在野黨も實は無定見で成案所でないらしいし又其の元氣も喚起し具體案を以て政府に突付け此の案を實行せよと迫るが可いと信じたら愈々見込がないと信じたら▲失敗は明々白々ではないか然らば之を如何にすべきか

▲内閣を打破するまでの決心なくば何れにしても此の外に途はない何れにしてもこだ此の重大問題に對し拱手傍観して居るのは大なる間違ひだ東京市疑獄事件から察した社會の腐敗は殆んど想像以上だ尠くとも國家は内から土崩瓦解する國家の危機は是より大なるはない然らば此の國家の危機を如何にして救済すべきかと云ふに現に綱紀が弛緩し人心が荒廃し人心の在野黨も實は無定見で成案所でないらしいし又其の元氣も喚起し具體案を以て政府に突付け此の案を實行せよと迫るが可いと信じたら愈々見込がないと信じたら▲失敗は明々白々ではないか然らば之を如何にすべきか

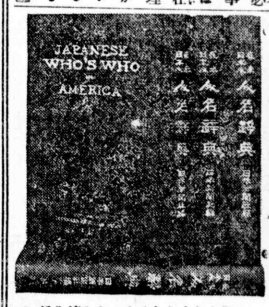
▲内閣を打破するまでの決心なくば何れにしてもこだ此の外に途はない何れにしても此の重大問題に對し拱手傍観して居るのは大なる間違ひだ東京市疑獄事件から察した社會の腐敗は殆んど想像以上だ尠くとも國家は内から土崩瓦解する國家の危機は是より大なるはない然らば此の國家の危機を如何にして救済すべきかと云ふに現に綱紀が弛緩し人心が荒廃し人心の在野黨も實は無定見で成案所でないらしいし又其の元氣も喚起し具體案を以て政府に突付け此の案を實行せよと迫るが可いと信じたら愈々見込がないと信じたら▲失敗は明々白々ではないか然らば之を如何にすべきか

▲言論文章でやるも可いが根本の廓清は何うしても政權の力でなければ出來ぬ然るに現内閣は腐敗の源泉だ現内閣は疏ば紀の根本的疏正も

◆一年限り非ず永久的なる 在米日本人名辭典——の編纂

世既に定評あり此上の説明不要 公共的精神の發露なる援助感謝

到る處の在留同胞社會から空前の歡迎を受けて多大の同情を忝うしつゝ着々調査進行中なる『在米日本人々名辭典』に對しては世既に定評があつて此上繰返し説明する程の必要も無いやうに存じます。事實『此在米日本人々名辭典』は其名の示すが如く總べての在米日本人を網羅することを理想とし標榜として居りますから、經歷が有るからとか無いからとか不必要な謙遜をする事無く總べて應募する事にして頂きたい夫でなければ『辭典』になりません自分の爲めの辭典といふよりも同胞社會全體の爲めの辭典であるから總べて漏れないやうにしてやるといふ公共的方面に就て十分の諒解あらんことを希望します



由來此種の事業は煩る困難なもので之が完成は實に容易でありません本社は繰返し此事業に對する同情ある諒解を以て在住同胞全部の御協力、御援助を熱望します

世既に定評ある本事業に對し各方面から續々推奬の辭や、激勵の辭を賜はる事は本社同人の衷心より感謝し居る處であります

◆人名辭典見本 本社編纂の在米日本人人名辭典は寫眞に示す如き美裝製本を以て在米同胞の貴重なる記錄を一般に知らし後世に傳へ且つ規定に依る申込者には此一冊を贈るのであります

◆日本が今度の華府會議で 世界指導の好機會

朝鮮臺灣樺太抔の自由を許し 宣く領土開放の急先鋒となれ

◆聯合通信東洋經濟新報所説を報ず◆

今度の華盛頓會議では日本が世界を指導すべき好機會にあること日本の輿論に見れば至て明白當地發行の英字紙は東京發聯合通信を何れも掲げてゐた

▼此所論は東京で發行する東洋經濟新報に掲げられてゐるもので日本が此際大英斷を奮して朝鮮、臺灣、樺太、滿洲抔の自由又は獨立を許し英米諸國の機先を制するが よいとの論旨であると報せられてゐた、近來に珍らしい思ひ切つた議論である爲め注意を惹いた譯である、東洋經濟新報は

▼米國提議の太平洋及軍備縮小會議は洵に我國策を一新し其根本を定むべき大切の會議と存じ云々として此問題の爲め多くの紙面を割てゐる、聯合通信は『大日本主義の幻想』と題して數回に亘つて論せられたものである今左に其要領を紹介して見やう『朝鮮、臺灣、樺太も棄てる覺悟をして

▼支那やシベリヤに對する干渉は勿論やめる、之實に對太平洋會議策の根本なり、今になつて最早や我國は領土を擴げたいにも擴げられない、之を擴ぐることは却つて國際の諸民族諸國民を敵とするに過ぎ之實際に於て何等利する所ない、列强の過去に於ても得たる海外領土なるものは漸次

▼獨立すべき運命にある幾ら他國の領土の廣いことが羨しいとも今更其眞似をすることが出來ぬとすれば我國は宜しく進に出て列强に其領土を開放する策を取るのが最も賢明の策であると、例へば我國が朝鮮、臺灣に自治を許し或は獨立を許したりせば英國は果して印度抔及を今日の儘に行はうか、米國は比律賓を今日の儘にして置けようか、されば若し英國や米國が海外に領土を有するが故に我國は彼等に比し不利の地位にあると云ふならば我國は人道の爲めなど云ふ偉い事でなく單に利己の爲めにも列强の海外領土は總て解放し其諸民族に自由を與ふる

◇口紅中に酒精

▽禁酒法違反◎接吻

禁酒で酒が無くなると共に上戸蔵の面々が色んな苦肉策を講じて隨分と際どい事をやつてゐるが今度は禁酒法違反のネツタといふ珍物が持ち上つた◇それは前合衆國納稅食糧品監督官ブーストル氏から發表された一事で最近一部婦人間で使用されてゐる口紅に或る化學的で驚造した六割六分の酒精分が含まれて◇この種の婦人にキツスした男はその化學作用で忽ち陶然となつて來さうだ（ワシントン市八日發）

◇急先鋒となるが善い

朝鮮、臺灣、樺太、滿洲と云ふ如き僅かばかりの土地を棄つることに依り擴大なる支那の全土を我友とし進んで東洋の全體否世界の小弱國全體を我道德的支持者とすることは如何ばかり利益であるか計り知れない若し其時に於て尙ほ米國が橫暴であり或は英國が驕慢であつて

▼東洋の諸民族乃至は世界に小弱國民を虐ぐるが如きことあらば我國は宜しく其虐げられる者の盟主となつて英米を膺懲せる覺悟を

●自動車で跳ね飛さる

▲福岡縣人種島末吉

上町邦人街中心の椿事——桑港ポスト紙一六七一酒巻末吉（三）は一昨夜十時二十分友人と共に向ひ側の支那飯屋東洋軒に赴く可くポスト街を横切らんとせる刹那フキルモア街方面よりユー二五在住マンルカー氏操縱の自動車に衝突され顚倒し疾走し來れるパルム・アベニー通り他數ケ所に打撲傷を受け直ちにマウント・ザイオン病院に於て應急手當を施し其後引續き入院治療中なるが昨夕の容態は憂すべく今回の太平洋會議は實に我國が此大政策を試むべき第一の無臺である』云々

●同胞放逐事件と故國の感情

▲至極平穩に過ぎた

過去三ケ月間日本支那の漫遊を終へ數日前沙港到着の便船にて歸米昨日米桑レスノ市レ

パブリカン紙發行者チエース・オスボーン氏は日本滯在中に中滅勵の辭を賜はる事は本社同人の衷心より感謝し居る處でいふ公共的方面に就て十分の

●二人半の女房持つ男

製材所で逮捕

二人を置去りにす

昨日桑港警察判事ラザルス氏の法廷に引張り出された一人の中年の男がある、罪名は重婚罪イーディ・レイノールヅと呼びソノマ郡ダンカン

▼製材所に働いて居た男だが昨年アツディと云ふ十六歳の少女と結婚し桑港シルヴア街に住んで居たに其後間も無くアツディに彼がジヨセフインと呼ぶ女の亭主である事が知れた然るに彼は離婚手續きを濟して居ると何氣無く胡魔化して置いた處が或日歸宅して見るとジヨセフインが來訪して居てアツディと會話して居る樣子なので驚ろいて其儘逃げ出し今度はロビンソンと云ふ少女と結婚する心算で手を携ねダンカン製材所に逃げ先頃迄働いて居たのを捕まつたのだと云ふ

◆日本人密入國を取扱つた活畫『日蔭の命』

＝節書を變へても精神に變りなし＝

▽羅府同胞の檢閲で落第と決定

▽觀覽は單に日本人間に限ると

當て密入國映畫として世人の視聽を惹き羅府日會に諮問會を催し、更に當事者は公表前一應關係者に檢閲を乞ふ事となり、愈々八日聖林クロスビー

◇撮影場に於て該映畫を點閲、來會者は領事館代表横川書記生、葛西羅府日會書記長、各新聞記者及び低加州日會富本諸氏にして一同暗室に九千余呎の映畫を檢閲後、葛西氏は密入國現行犯を插出せる該畫を道德的に法律的に解説するや、大宰氏は密入國嫌疑者として捕縛される事に筋を換へたりと陳じ、富本氏は筋書を換へたるも

◇其精神に變化なし、畢竟之れを米人に公開する噂り物議を惹起したる所以、將來米人に公開せぬからは有害ならず迚も思ふ、人種及國境に超越する藝術に關し察除するの權能なし、同胞間の醜を自ら白人に曝露して其結果國境通過に迄及ぶ事は勿論やめる、之實に對太平洋會議策の根本なり、今になつて最早や我國は領土を擴げたいにも擴げられない、之を擴ぐることは却つて國際の諸民族諸國民を敵とするに過ぎ之實際に於て何等利する所ない、列强の過去に於ても得たる海外領土なるものは漸次

▼獨立すべき運命にある幾ら他國の領土の廣いことが羨しいとも今更其眞似をすることが出來ぬとすれば我國は宜しく進に出て列强に其領土を開放する策を取るのが最も賢明の策

▼支那やシベリヤに對する干渉は勿論やめる、之實に對太平洋會議策の根本なり、今になつて最早や我國は領土を擴げたいにも擴げられない、之を擴ぐることは却つて國際の諸民族諸國民を敵とするに過ぎ之實際に於て何等利する所ない、列强の過去に於ても得たる海外領土なるものは漸次

▼獨立すべき運命にある幾ら他國の領土の廣いことが羨しいとも今更其眞似をすることが出來ぬとすれば我國は宜しく進に出て列强に其領土を開放する策を取るのが最も賢明の策

▼支那やシベリヤに對する干渉は勿論やめる、之實に對太平洋會議策の根本なり、今になつて最早や我國は領土を擴げたいにも擴げられない、之を擴ぐることは却つて國際の諸民族諸國民を敵とするに過ぎ之實際に於て何等利する所ない、列强の過去に於ても得たる海外領土なるものは漸次

▼獨立すべき運命にある幾ら他國の領土の廣いことが羨しいとも今更其眞似をすることが出來ぬとすれば我國は宜しく進に出て列强に其領土を開放する策を取るのが最も賢明の策

◇拘束を

芳しからずと看取したるが故、既に反省を促したるも、されど大宰氏等の誠意を認はざる可からず、多額の經費を投じたる立場も同情せざる可からず、白人なるが故に公開せざる約束をせらるゝに至つた、即ち外國市場が恢復して日本の紡績業の活動となつたのである、生糸取引も活潑となり同時に秋蠶も増收の見込

●日本人出生率

白人の四倍

加州上半期統計

加州統計局長ロツス氏は昨日公表した處に依ると本年の最初の六ケ月間に於ける出生率は日本人が最も多く、白人の四倍に達してゐる指數百に對し白人が一八、一、日本人が六九、四である と報告してゐる、各人種の率は左の如し

	出生合計（千百に對し）
日本人	二、二六〇
白人	一、九一二
黑人	一、八七一
印度人	一、〇七一
他人種	四、九九

◆鬼の樣な親

▼車窓からベビーを

親に似ぬ小兒を投げ下こして云ふが可愛い小兒を殺害する鬼の樣な親がある、牛れた計りの罪も苦もないふつくりと肥つた天使のやうなんベビーを東部ダーナーと云ふ一市に去る八、曜南を流れて走つて居た際乘客中の一夫人が列車の陰暗りに乗込で窓から小兒を石塊り何んぞ捨てる樣に打ちやつた、九時間立つて子供は拾はれたが身體は凍れて可愛さうに經て見たやうになつて居た、警官は母親を血眼になりて探して居るが未だ犯人を擧がらぬ

●日本の景氣回復

米國商務省東京電報

最近商務省は東京駐在貿易事務官ブツプ氏發の日本の經濟狀態に關する近電を發表したが大要左の通りである。近頃銀行が一億圓の限外發行をしたので金融が緩慢となり、且つ銀行の預金率が下つたので地方の預金は

▼公債の投資に振替へらるゝ樣になつた、輸入品の滯貨も著しく減少し國內の輸出向物貨は依然高價を維持してゐる農產物も今後氣候に大變化のない限りは平年の收穫は疑ひない地方の景氣が回復したので海外移民殊に伯剌西爾行◎移民數が減少した、造船所の能業も失敗に終つた、生活費は引續き增加の一方であるが却て勞働者を刺

▼鐵道輸送狀態も先づ普通で鐵道改修は全國に渡り盛んに行はれてゐる、紡績業者は操業四割短縮の協定を撤回するに至つた、即ち外國市場が恢復して日本の紡績業の活動となつたのである、生糸取引も活潑となり同時に秋蠶も增收の見込

辭せしめて滿州蒙古方面に送り馬賊の隊長として盛んに活動させてゐる」と冒頭して

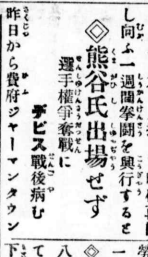
▼昨日のパブリック、レヂヤー通信華府特電員ワイル氏は本紙第一面所載井上中佐のと就いて詳細なる電報を昨夕の英字紙に送つて來たが曰く『本問題は最近華府當局に達した情報に基くものだが先月初旬日本軍閥の寵兒と目されてゐた陸軍中佐井上喜一氏が突然

▼現役を辭すると同時に滿州方面に於ける馬賊の隊長として活動すべき旨を聲明したが中佐の周圍には多數少壯陸軍武官の後援あるものゝ如く「戰備」に編入されるや中佐は直ちに山梨陸相、上原參謀總長に會見協議を遂げ知人の一議員外友人二名と共に東京を

▼出發し愈々滿蒙の野に自由手腕を振ふべく勇ましく鹿島立ちしたが同中佐は昨年暮れ迄滿州を朝鮮國境警備隊の司令官たり、日本政府最近の對支外交政策に憤慨してゐる少壯武官中には中佐の擧に賛同して行を共にする者が尠くない』云々

◎マーライ博士追悼會 桑港基督教青年會總主事として四十年間勤續し同胞沿岸基督教の爲めにも盡力されたマコーライ博士の追悼會はポスト街第一組合教會に於て十一日（日曜）午後八時

▽ドン博士司宰の下に日米支那人基督教青年會連合にて擧行すと



◇桑港拳闘場再開

昨夜から一週間

昨年十一月ハワード街凌辱事件が突發してから閉鎖を命ぜられ其後野菜市場にされたりして居た桑港日本人町に近いスタイナー街の前拳闘場ドリームランドは九ケ月振りで昨夜再開し同ふ一週間拳闘を興行すると

◇熊谷氏出場せず

運手權爭奪戦に

▽ビス戦後病む

昨日から費府ジャーマンタウン

草笛

匿名の投書にも氏名住所は當編輯局へ明示されたし

言葉の使分

……時と場合……

■昔の仙人や今の哲學者諸公は兎も角、生きた現代の空氣を吸つてゐる人間は、時と場合に應じて變通するの用意がなくてはならぬ、耳に胼胝の出るほど聞いて餘り懲りしくも痒ゆくも無いといした處で、有り難くも無い排日の空氣の中に樣ひ加州同胞に於て、この變通自由の用意を必要とする事、殊に然り

■日本語はオヂヤと云つた時から日本人の使ひ馴れた言葉だから、何處に出ても遠慮なく御使用差支ゐる筈はないが、そこが時と場合、少しは遠慮して喋る事の質明なる事もある

■電車の中では米人にし如處が餘り大きな聲で話はせぬ、然るに日本人が持つて生れた言葉でベラ神に大きな聲で喋る事ありとすれば、さきだに小さい黃色人に注目してゐる彼等の眼は異樣に光らざるを得ぬ、對手次第でブロークンでもアイ・チンクでも構はぬが英語で話せるだけは話し、日本語の處は低聲に願ひます、と小生は註文する

■殊に日本人の血は享けたれど米國市民たる兒童諸君は、家庭に於て日本語の練習を爲すは可なれど、街上に於て、電車中に於て、更に活動寫眞に於て英語用の便する場合は出來る丈け英語——卽ち彼等の本國語を使用する事が望ましい

■此春、州會に英語以外の言葉を使用する者を罪するナヂ野蠻な法案を提出しかけた紳士があつたが、恁麼法律の出來る筈は無いとして、排日裡の日本人は必ず言葉の使ひ分けをする必要ありと愚考する（桑商）

仲裁解決廣告

高橋克造對重松傳造吉田金之助及び川口平太郎氏等の貸金請求並に之に關聯せる重松對高橋其他諸氏の不法監禁損害賠償要請訴訟紛爭の件は下名等の仲裁に依り相互間に圓滿なる解決を遂げ全部の解決法を下名等に一任せられたるに付き登衛の末適當なる仲裁條件を案出し相互の同意を得て總て滿足仕候依つて茲に關係者一同名譽の爲廣告仕候也　仲介者

木庵利器三
井村阪之助
木内庸雄

Henry G. De Roos, Inc.

88—3rd St., S. F. Calif.

寫眞機（娯樂向）營業向品一切

寫眞仕上げ、引延、色着け、迅速叮嚀

キヤメラ、レンズ等の交換の需に應す

其他望遠鏡、眼鏡

桑港第三街一八八（電カーネー五四七五）

沿岸最大ヘンリー、チー、デルース商社

電話永第市內何處でも御註文何ひに參ります

市外御註文並に御照會は日本字にて差支なし

發送の迅速、荷造りの完全は本商社の特色

大浦事務所

公認 央州ポートランド市 50½ N. 3rd St., Portland, Oregon

カサル及び農園、土地賣買仲介

皮膚病妙藥

▲代價金二弗五十仙

此の藥は內服、外用の三種類にて先づ根本的に身體內部の惡毒を去り外部皮膚のカユガリを癒す特効あり

主治 血毒○肺、エクゼマ、ヤウ、くさくさ、かんがさ、脂漏、いんきん、たむし、カユガリ、ただれ、ぶつぶつ、あせも

効能 一手販賣 桑港 鈴木事務所 K. S. SUZUKIS OFFICE 1731 Buchanan St., S. F. Calif.

旅館譚受廣告

私儀今回左記の處にてホテル讓受候一層の勉强を以て營業可仕候間倍舊の御引立に與り度候

術各室には湯水浴の設備あり且各銀行諸會社へ二三丁波止場へも近距離の處に有之候

桑港カネー街八三三
電話ガーフキルド三六〇
ニューツエストホテル
館主 森下平三郎

代價金二弗五十仙

男女 ウエキーアプ 百錠入一瓶五弗、二瓶九弗、三瓶十二弗

最新發見劑男女共に血液の運行を進め精力を增し神經機能衰弱精力缺乏貧血より起る諸病を全治する保證藥なり

◎通經 イジーフロー 一週分二弗五十仙、二週分四弗七十五仙三回分七弗

研究實驗の結果良効確實なる月經藥なり

◎藥局 多年經驗ある白人婦人專門醫師により最新發見の藥劑を低廉に提供す

桑港ポスト街一六〇一電話ウエスト五九七七

桑港旅館組合

第八回母國觀光團員募集

出發 來る十月十七日出帆天洋丸
團員 百二十五名
團長 田中仙太郎
申込所 組合旅館
主催 桑港旅館組合
事務所 1511 Geary St., S. F.

趣意書は御申越次第送呈す

各濠船會社 日本行濠船切符特約取次販賣。猶ほ乘船及び稅關の諸手續等は最も迅速に御世話致します

乘船切符は御申込順ゐより取次申すは勿論ですが冬季船室狹隘の場合は御出桑の順序により取次ぎする事があります

サイズ六以下の靴を御穿きになる日本人諸君はホーランド靴を御用にならば穿き心地が非常に宜しい

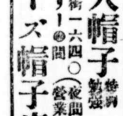
代價は黑六弗、茶七弗半

弊店はフイルモーア附近の一手販賣店であります

桑港フキルモア街一七〇一—一七〇三（ポストの角）

メールー靴店

MAIL'S SHOE STORE
1701-3 Fillmore St.
San Francisco



フランクリン六 賃金低廉迅速丁寧御命用應

Tel. West 5977
Taisho Drug Co.
大正藥舗
1601 Post St., S. F. Cal.

上等婦人帽子 最新流行 フキルモア街一六四〇（夜間營業）ポストとグリーの間

ローズ帽子店

サウスパーク一〇四 電話ドグラス三九三 井木旅館
サウスパーク一〇二 サウスター八五〇一 防長旅館
ラグナ街一五五一 ウエスト五二一五 日本ホテル
ブシシュ街二〇一八 フキルモア四四六五 日米ホテル
ブキヤナン一五七〇 ウエスト三二二二 北米旅館
バシフイツク四四〇 ガーフイルド二九六 田村旅館
サウスパーク一〇八 ダグラス四八九八 近江屋旅館
ダグラス二一一九 加州ホテル
サクラントン一〇一九 名古屋ホテル
ポスト街一七五九 フイルモア三五三二
ゲリー街一五二三 ウエスト六九三九 南海屋
サウスパーク七〇 カネー二七二九 熊本屋
サウスパーク一七一 カネー二七一三 福岡屋
グラント街五二三 カネー一三〇五 富士ホテル 玉城龜
サウスパーク二一一 サター八六六一 永本旅館
ポスト街一六五一 ウエスト六二一一 安藝ホテル
ブキヤナン一六二三 ウエスト五五四六 紀の國屋
サウスパーク八四四 ダグラス六四七一
ポスト街一七三四 ウエスト一九九一 ミカドホテル
ブキヤナン一六四五 フイルモア一九七一 エビスホテル
ポスト街一六三二 ウエスト九四四八 廣島屋

仇花實花

—九五—

長者丸

たゞなしい惠美子が、奥齒に物の挾まつたやうな事をいふ譯は勢喜子の胸に響くがある。

『おや、可笑しな事を仰しやるのね、私が何うして内の人を思つて居ないでせう』

『勢喜子さん、あなたは御自分の旦那樣に滿足しないから、他の男をちやほやなさるんですぢ私は何うせ意氣地のない女ですけれど、其れくらゐな事は知つて居ます』

『では、あなたの旦那樣を私が何うかしたとでも仰しやるの、私には決して其んな疚ましい事はないつもりです』

『まあ、嘗うでせうか』

『其うでせうかとは何事でせう惠美子さん、事柄が事柄ですから、あなたの仰しやりやう一つでは、私も黙つちや居られなくなりますよ』

『それは私も知つて居ます、知つて居るから今までは我慢して居ましたが、内の人が戰地へ立たなかつたら、今ごろはあなたとの關係が何うなつて居るかせう、私られを思ふと、あなたが恨めしい』

『惠美子、氣を鎮めなくちゃ行んん』

讓が見かねて傍から庄治君が居なくなつたので、餘つぽど何うかして居るね』

『ねえ、何うかして居ますとも、この人は既んでの事に良人から私の愛を奪はうとしたんです、そうして良人はもう戰地へ行つてしまつて、今ごろは何うして居るんでせう、兄さん、私は何うしませう、私は獨りぼつちだ、私は心細いし』

讓はしやかな日頃に似合はず惠美子は物狂はしいやうに讓の膝に身を投げかけてしく〳〵泣き出した。

勢喜子は其れを瞬きもせず見詰めて居たが、急にやさしい顏になつて讓に斯いつた。

『あなたの御妹さまは私を侮辱しなさいましたが、私は寧ろ惠美子さまが御可愛想で成りません わ、女心感情が昂ぶると誰でも斯んなになるものです』

『全く其の通りです』

『ですから、瀬戸さも、あなたは何うか惠美子さんに氣をつけて御上げあるばせ、これが昂じると、何んな事になるかも知れませんから、もうして私が居る間は御氣に障ると惡う御座いますから、私はこれで失禮をいたします』

讓の心では、勢喜子に行つてしまはれるのが、何だか物足りないやうだつた。

『では、御留めはしませんが、妹があなたに言つた事は何うか水に流して藏きたい、そうして東京へ立つまでには今一度私の眼にかゝるせうから』

『ねえ、私も是非』

例の男を嗾るやうな色つぽい眼附きを讓にくれて、勢喜子は出て行つた。そうして讓は旅館の玄關まで見送つた。

『黒江の奥さん、僕は妹が先つき言つた事を全く信ずるのぢやありませんが、庄治君にあなたが何うかなすつた事は事實なんでせう』

『あら、それでは私が可愛さうぢやありませんか、もし其ういふ事が假りにあつたとすれば、先つき申したやうに、内の人があなたよりも大坪さんを疑はなくちやなりませんからね』

其いはれて讓はにやりとした

燈臺守

(十)

學齡に達して入學した當時、神子元島の燈臺守の子が經驗したやうに、犬と馬の區別が理解めなかつた兒童の一人であつて、最高學府に學籍を置かうなどは思つても居なかつたのであらう、併し信一翁は『何とかして世に出したい』の親心から、巡り廻つて十餘年振りで再び野島崎に移る時、鎮雄さんを膝下から離して東京で勉强させたのであつた、鎮雄さんの自臺的精神に信一翁の

▼子を思ふ親心が一致して鎮○軍縮と云ふて巨艦を引き廻はし見せ付られて恐縮をする○一寸來いに能い事いなと知ながら行かぢやなるまい敵ゆ中でも

を潜つて宮内省へ勤めることになつた、燈臺守に野心があつては勤續出來ないと言ふは燈臺守になる迄の卷に書いて置いたが併し夫は絶體で誠ない、信一翁が立派な子息を出したのは『未だ祇會に望みを失はない』一例であるが、更に兄弟三人が燈臺守をして居る土屋岡中君に第二の例がある、土屋君の子息は一人は早稻田を一人は商業學校を卒業して中學教諭と郵船會社の機關士を出して居る、中野久成君と言ふ老人も燈臺守から身を起して一時は神田區小川町に唐物商便利堂の店を張つて居つた、燈臺守にも世間はあるけれどもうの世間は局限されて居る、子供を樂しむか蓄財か、鈴木翁や土屋君は子供を樂しんだ成功者である、蓄財に世間を見出したゆに極端なのが居る、四國の或る燈臺に勤めて居つた人であるが、燈臺守は妻君と子供の三人世帶で、棒給二十二圓の中から二年毎に五百圓宛蓄へた、うの爲には

▼勤務の餘暇を漁に出て釣つた魚は乾物にする、然うして山の奥にある郷里へ送つて親族に商賣させたのである、樣太の西郷岬で冬になると鷲が襲來る、これを利用して鷲漁で蓄財した人もある、中には北海道で豐富な豆を内地に輸送して儲けたのが動機で、今では燈臺守を廢めて東京市内に取引所を開いたものも居る、鷲漁の話は北國の燈臺守生活の半面を語るものである、冬期に入ると海邊へ『雪の家』を作つて銃口だけの穴から明けて置く、鷲が來ると雪の家から

▼狙ひを定めて射止めるのだが、豐漁の時は一日に五羽位獲るゆは困難でない、此鷲は一羽が五圓で北支那の方面へ輸出される。

ゆである、燈臺守の話は未だ盡きないが一應此稿の筆を擱て改めて又書續るとする、尚此篇の信一翁は小石川名荷谷に子息鎮雄君と靜かに餘生を樂しんで居る。(完—瀬川生)

八面くらぶ

◆一口噺 雲水坊

親分『愈々日本の海軍も腹が定まつたさうだよ』乾兒『へい、どう定まりましたな』親分『何ふ次第でこつちはどうでもいふ譯でな、海軍でも博奕打でも戰法は同じだよ』

甲『軍縮て何んだらう』乙『軍備縮小を半減して二字に縮小しなのさ』

◆へなぶり 桑港 青山

○軍縮と云ふて巨艦を引き廻はし見せ付られて恐縮をする○一寸來いに能い事いなと知ながら行かぢやなるまい敵ゆ中でも

醫師開業
今般左記に開業一般患者の診療に從事致候
診察時間午前九時より十二時迄、其他は約束
加州大學出身
ドクター・メジシン
橋田慶通
桑港テラー街五一六
フキヂシアン・ビルヂング
電話ガフキールド一〇一九
住宅ブッシュ街二〇二〇半
電話フ井ルモア二七二九

新古各種裁縫ミシン及び乳母車
家具
電話クエスト四三二七
桑港ゲリー街一六〇五—九

自由公債
貴金屬銀行
フィルムス
金
質屋
桑港フィルモア四四四

桑港公認醫師會
内科、外科、小兒科
産科、婦人科
桑港ウエブスター街一五四八
(ポスト街グリーンの間)
ドクトル藤森直和
電話フィルモア五六四

桑港ポスト街一六九四
五車堂 伊津野醫院
二階 ドクトル伊津野房一郎
電話 フキルモア三二六〇
夜間ウエスト七五一九

桑港ブキャナン街一五五二
北河醫院
スタンフォード醫科大學出身
ドクトル・オブ・メヂシン
北河慶次郎
電話フィルモア五二八八

入科 産婦人科、内外科、小兒科、耳鼻喉咽科、皮膚科
入院 日本病院
中村竹之助
桑港パイン街一八一一
電話クイルモア二〇〇四

加州醫科會
桑港ゲリー街一五二六 井戸本保之助
桑港ポスト街一七七六 林德太郎
桑港ポスト街一五三〇 田中敏太郎
桑港ポスト街一五六八 山本辰雄
桑港ポスト街一六四五 谷田部保
桑港ポスト街八三五〇 藤田省三
桑港ポスト街八三五〇 木暮篤太郎
桑港ポスト街一二六〇 小川榮一
桑港ポスト街一五三〇 田中敏太郎
桑港ポスト街一五六八 山本辰雄
桑港ポスト街一六四五 谷田部保
桑港ポスト街八三五〇 藤田省三
桑港ポスト街一二六〇 木暮篤太郎
桑港ポスト街一二六〇 小川榮一

桑港公認醫科醫師
桑港ゲリー街一五二六 井戸本保之助
桑港ポスト街一七七六 林德太郎
桑港ポスト街一五三〇 田中敏太郎
桑港ポスト街一五六八 山本辰雄
桑港ポスト街一六四五 谷田部保
桑港ポスト街八三五〇 藤田省三
桑港ポスト街一二六〇 木暮篤太郎
桑港ポスト街一二六〇 小川榮一

日と耳と一度に樂します
特別大興行
浪花節入活動寫眞
浪界の重鎮 北都齋謙遊出演
三味線 謙系
五郎正宗孝子傳
浪花節出語り
琵琶歌 浮世、二人探偵
興行 チーコ
取日 ベンリン十日十一日
羅府ジャクソン街四五二
電話 六五四二五
本部 日米興行會社
山脇正悌

獨逸病院隨託通譯
桑港スタクトン街七五八 電話カーニー二四七六
高尾鶴松

HOTEL FUJI
423 Maynard Ave. Seattle Wash.
妻君御親族御別莊御呼寄の際は御遠慮なくへば上陸に關し必要なる學項學遊御歸返都可申上候
シャトルド街 ターナー
四二三
煙草造支館二樓タコマ及キャ

藥局
公認醫科日本ドラグストア
桑港ポスト街一六九〇 電話クエスト一八六
NIPPON DRUG CO.
1690 Post St., San Francisco

大阪藥店
郵送無料
公認醫藥
桑港プッシュ街一九〇七 内務省免許藥品 倉本ひな
桑港ゲリー街一九〇四
強精錠 精力を增進し腎臟機能衰弱を治す 最新發明なり 一箱五弗 二箱九弗 三箱十二弗
有効確實 通經丸 有効安全に通經し月經を健全にする月經藥 一箱五弗 三箱分二弗
有効確實 つわり錠 婦人姙娠時に苦しむつわりに本劑に依りて根治す 米國製新 一箱二弗
赤十字印胃腸丸 胃腸病新藥 百錠入一弗
柔性及慢性胃腸病に用ひて卓絶なる効果を奏す
▲タラコン湯 一、〇〇
▲大木五藏圓 一、〇〇
▲活力素 一、〇〇
▲淺田飴 五〇
▲壽滅 五〇
▲白色淨血清 一、〇〇
▲六神丸 五、〇〇
▲わきが妙藥 一、〇〇
▲毛生液 一、〇〇
▲宇津救命丸 一、〇〇
▲朝鮮人參 五、〇〇
▲眞正熊膽 五、〇〇
▲いぼはくろ取 五〇
▲安全吸入器 四、〇〇
桑港ポスト街一五九四 電話クエスト三四七四
OSAKA DRUG CO. 1594 Post St., S.F. Calif.

桑港櫻府電氣鐵道
桑港埠頭キールートより櫻府都市より桑港行毎二時間發車す
San Francisco-Sacramento R. R.
Ker Route Ferry. Phone Sutter 2339

京都帝大選科卒業
飯田產院
桑港ウエブスター街一五六二(ポスト街角)
電話フィルモア二九一一
公認產婆 飯田テイ子

公認產婆 林產院
桑港ポスト街一五二八
電話クエスト五七六八
公認產婆林イエ

皮膚病專門男女症雙桑治保證
運信は總て日本文に宜敷候
診察時間自午前十時至午後九時
醫學博士 劉日初
桑港グラント街五〇二
Dr. LOU YIT-CHO

科學的マッサージ
電風呂設備完成
櫻庭療院
桑港ウエブスター街一五四二
電話フキルモアー五七七三

公認 川口產院 姙產婦收容
内務省免許、加州公認產婆
川口藤子
桑港ブキャナン街一七一四
電話フキルモアー四九四七

英語教授
初學者、新養成者、婦人及年少者の爲に懇切教授す
パイン街 寺澤教館
二八一一
電話フィルモア二二二〇

英語教授
複雜なる日本人諸君の成功は實に特英語會得にあり妾は十數年經驗あり懇切教授す
Miss. C. RYAN. Tel. West 6125
3003 Clay St., S. F. Near Baker

フォード自動車の福音
修繕費の節減、五十パーセント油の節約、タイヤーの持久
冷水廻轉機 金十弗五十仙
廻油機 金十七弗五十仙
副タイヤー 各種從定價表
フォード自動車にて遠距離を愉快に旅行する唯一の補助機關です
『御遠慮なく御問合せください』
桑港コマーシャル街六八五
(電話ダグラス六四五四)
東洋人總代理店 土屋兄弟商會
羅府代理店 帝國貿易商會
須市代理店 木村シンガーミシン商店
櫻府代理店 片岡保險事務所

在米日本人名辭典
日米新聞社編
末代に傳ふべき内容を盛るにふさはしき善美を盡せる製本
眞に在米同胞が子孫に傳ふるに足る各個の銘々傳なり
躊躇せず直ちに申込みを乞ふ
之を子孫に殘して悔うる事なし
本支社所在地及附近は社員又は代理人訪問すれど遠方の方は何卒直接御申込を乞ふ
申込用紙は御一報次第送呈す
編纂發行所 桑港 日米新聞社 660 Ellis St., San Francisco.
在米同胞各位が互に進んで申込み本書の完成を助けられよ、既に申込みたる方は本書を益々完全にする爲に知己を勸誘されたし

忽八版
呪はれたる日本
陸軍中將 佐藤鋼次郎閣下著
淺井政藏 藤伯裝幀
在米同胞人士に告ぐ！
米國の提案何かは、極東會議何かは、太平洋會議何かは、實に正々堂々たる本會の論旨を見よ。徹頭徹尾其主張を貫徹せんとする著者の緊張したる鵬意企圖を尊讀せられよ
發兌 東京市麻布區霞町一の二 振替口座東京八五三 隆文館
取次所 桑港五車堂 櫻府博文堂 其他各地邦人書店
四六判四百頁上製洋布裝 送料本代共 定價金三圓 送料金 換紙送
日米同胞の大本を提唱せる愛國の快著である

◆「國民の幸福を望む」と＝東宮殿下、民衆に御演說

東京市民の奉迎會み台覽の殿下

▼美しき英姿堂々たる御演說に民衆感泣し

一言一句に拍手と喝采を送れる民主的氣分▲

◇奉迎を御感謝、東京市民の前途を祝福◇

九日發—本社東京特電—

▽暴風雨裡の神宮行啓

皇太子裕仁親王殿下には日光田母澤御用邸に御避暑中なる御父陛下に半年振りの御對顏あり歐洲御旅行中の御見聞を御報告申上げたる後七日一般民衆の奉迎裡に帝都に還啓遊ばされたるが八日は朝來暴風雨なりしに拘らず御豫定通り代々木の明治神宮に御參拜の行啓を御敢行遊ばされ御歸還後風雨は晴れ渡れり

▽日比谷に晴の奉迎會

暴風雨後殊の外美はしき秋晴れの九日朝、東京市の奉迎會は初秋の景美しき日比谷公園に於て今未曾有の御演說を爲されたるが、殿下の歐洲に於て內外人を驚嘆せしめたる堂々たる御演說に振りに民衆は感泣せり、殿下は其壯健なるを表示する御高聲を以て先づ盛大なる奉迎會を催されたるを感謝すとの御言葉を給ひたり

▽高聲にて民衆に御演說

皇太子殿下には御機嫌殊の外麗はしく日比谷の奉迎會場に行啓遊ばされ、奉迎の民衆に對し古舉行され、數十萬の市民會場に溢れて殿下奉迎の赤誠を示し、全國青年團員は公園を圍りて會場の警戒に任じたるが、著しくデモクラテツクの氣分表はれたり

▽一言一句に拍手喝采

殿下は次に東京市政の發達と首府の前途の多幸ならん事を希望すと述べ最後に國民の幸福を望みて御降壇遊ばされたるが殿下の光彩ある御姿勢と御演說內容に感動せる民衆は殿下の一言一句に熱烈なる拍手喝采を送りたり

▼提灯行列の市民に對し世界平和を御力說

青山御所前に於ける東宮殿下

軍縮會議の成功努力を御暗示

九日東京發　聯合通信電報

二百五十万の東京市民は本日日本國民固有の忠誠なる表現を以て皇太子殿下を奉迎したり、御世嗣殿下の歐州御旅行は一般民衆に

▼深き感銘を與へたる

と共に皇室內に新たなる民主的興味を起せる事疑ひもなし天皇陛下御不例の爲め今や日本帝國の事實上の柱石として奉ぜらるゝ皇太子殿下に對し東京市長長谷川藤男

▼平民的の奉迎會を開催せり、此夜東京市民は一大提灯行列を以て青山なる東宮御所に祝意を表したるが殿下は御所前にて此民衆に對して御演說あり世界平和を

▼御高調遊ばされ華府に開かれんとする軍備縮小會議の成功の爲め出來得る丈努力するの必要を暗示し給へり

▼兩陛下の御前に御講演

得意の御雄辯

皇太子殿下御演說の東京電報は之を聞く同胞をして非常の感慨に導く事であるが殿下の御演說に御堪能なるは近侍の者の驚嘆せる程であると拜聞す

▼平和の市民に對し

▼深き感銘を與へたる

▼御高調遊ばされ華府

▼兩陛下の御前に

▼御講演

◆海軍代表

コレア丸で渡米

華府會議に出席すべき我が海軍代表及び一行先發隊は左の如くであつて十月一日橫濱出帆のコレア丸にて渡米する事になつてゐる

代表　加藤寬治
隨員　山梨勝之助
同　末次信愛
同　上田良武
同　堀悌吉
海軍中將
海軍大佐
同
同
海軍中佐
他少佐三名、大尉二名隨行の筈（昨日著聯合通信東京發電）

◆海軍代表

コレア丸で渡米

◆一夜に百萬長者

▼石堀り男の妻君

當市アメリカンセメント會社の石堀りとして働けるヘールと呼ぶ勞働者の妻君は昨秋一晩の中に二百萬弗長者になつて了つた。妻君はアイオワ州ブーン郡の大富豪ファーレー氏の娘で今から一年以前今の夫ヘールと駆落ちし手錠に縛られて居ると云ふ噂があつたが數日前父が死去し遺言狀を接いで見た結果遺產全部を娘に讓るとあつたので此の果報を見たとある（アイオワ州フォードダッヂ市九日發電）

●米國勞働者の赤化運動

▼危險なIWW黨員

最近各地の勞働組合を過激化せしむべくIWW黨員が盛んに裏面に活躍してゐると云ふ噂があるが本問題に就き昨夜海員同盟本部に於て全米海員同盟組合長フルセス氏が發表した處に依るフルセス氏は露國モスコーに本部を置く過激派インターナショナルの宣傳本部と氣脈を通じ有力なる資金の供給を受け居るものゝ如く既に多數の電報書類が集めらるゝ者の電報を地下線とする爲め市よりは之れに對する警戒方法を研究中であるとの

▼其半額一萬四千弗を支拂するであらう、該案提出者たるハーデンの大統領の紐育の十六人千弗の最大家族に對し賞金を送つた例に倣つて當地のクロニクル紙で桑港附近で最多數家族に百弗の賞金を與へると發表したが翌日早々二家族の申込みがあつた、一家は十三人家族、兄の知つて殖ゆると云はれる日本人家族で二つ此懸賞に應ずる家族があるだらうが何れにせよ子福者の世の中になつて來た譯である

●最大家族は誰か

▼桑港附近で懸賞

◆警察署長に出廷の命

▼活劇禁止事件

白衣團活劇

シンマンの問題

米國活動寫眞界に於ける第一流の舞臺監督として有名なリアス氏の監督下に數年前製作されたフキルムで例の白衣覆面團の南北戰爭當時に於る活動を取扱つた

▼クランス マンは其頃には珍らしき長尺物で又題材の取扱ひ方が頗る巧妙を極めた悲劇であつたので一般から非常な好評を博したが、其の活劇が最近桑港に復た映寫されると云ふので桑港在住黑人間に大恐慌を惹起した

▼警察署長 のブライエン氏が郡上級裁判所デイジー判事法廷に出頭審問を受けなければならぬ樣な珍事が出來した、其の理由は該活畫の映寫に對し黑人側から檢事ブラデー氏と警察署長に猛烈な抗議を提出したから

▼郡檢事と 署長は該活畫を以つて公安に害ありと認め映寫を禁じた、所が一方活動業者は之れを不當なりとして郡上級裁判所に訴訟を提起し審問の結果『影寫差支へなし』との判決を得たので再度警察に許可を

▼申請したが 署長から却下され途ひに此の騷ぎに立到つた譯、署長は判事から召喚狀を受けて今朝出廷の上『法廷が許可せる活畫の影寫を何故禁ずるや』に就き說明する筈になつてゐるが昨夕署長が發した

▼聲明書に 依ると近來只さへ盛んになつて來てゐる黑白人鬪の亂鬪に層一層油をかけるものとして公安上何處迄も禁ずる方針だとあつた

つた桑港邊からも出掛けたもの多かつた、桑港では市役所に大國旗及び加州旗が秋風に靡つてゐたし市街電車建物に國旗が賑はしく飾られた、午前十時半からパンネス街波止場で水泳競技の催あり

▼金一△ 公園では祝賀の音樂を奏し市公會ではネーチブン及びドーターが出席して二時

▼希臘 流船アレキサンダ號に入港せる禁酒官二名が船內を捜索せんとするや忽ち全組員の反抗を受けて大爭鬪となりたるが一方是が急報に接し陸上より合衆國マーシャルのバワー氏は部下三名と市警察署員二十五名を引率して駆付け全乘組員三百名を捕縛

▼收監 すると同時に密輸入目的の禁酒價格百萬弗を押收密航者十數名を發見しユリス島移民局に收容せりと

●活畫館內で禁劑を密賣す

▼捜索された屋人

桑港マーケット街一〇二七活動寫眞常設館バナナ座を根城とする禁劑密賣團有りしを此程發覺し官憲は同屋人マクダニエル其他の關係者を逮捕し嚴重に取調中なるが彼等は館內に觀客席の後方に設け有る暗室內に客を引入れコカイン其他の賣買を爲し居たるものゝ如しと

●鐵道線路に夢の女

▼狂人か夢遊病者か

サンマテオ郡シェリフ代理のマクオーリン氏が昨日早曉二時頃レツドウッド市附近のエス・ピー・

鐵道線路を通行中線路の眞ん中に一名の擧動不審の年若い美人が茫然と佇んでゐるを發見し取調べて見た處絕對に言葉を發せず取り敢へず引致しやうとした時彼女は忽ち暴れ出して手に餘る處へ折よく駆付けて來た警官と共に市監獄に收容したが其後も絕對の沈默を守つてゐるので夢遊病者か健忘症者かあるとも狂人かと目下研究中である

●青年會屋內運動會

十日午後八時より當市サター街青年會屋內運動場に於て左の順序にて大運動會を催すべく當夜は特に米人青年會本部より運動部主任少年市民倶樂部主任の慶張ある筈

一、YMCAのフール二、バスケツトボール、三、市民倶樂部の浦ゲーム四、柔道五、擧劍六、サンダー氏運動主任の演技、七日本人ボイスカートの演技其他數番の餘興あり

●日本行切符とエビスホテル

日本行切符とエビスホテルに一、二、三、等共何時にても御申込ください必ず良室を得ます迎ひの御方樣には特に電話切叮嚀に御世話致す由

1645 Buchanan St., S. F.

米國麹並味噌の元祖

大印薄利多賣主義を以て品質の優等なること天下無比の誇に愈々大々的に販賣開始す百聞は一見に如かず一度御使用あれ

Kagetai Koji Co. 1534 Post St. S. F.

謹告

小生儀桑港旅館組合主催第八回母國觀光團々長として歸國致す事に相成り居り候處一身上の都合に依り一時歸國を中止し團長後任として同幹事田中仙太郎氏を推擧仕り候間取り敢へず茲に謹告致し置き申候也

大正十年九月九日　明石順三

●患者の福音

當館は如何なる病者でも病名を明瞭な報告不審なる知らず

斬新流行

大勉强販賣並に修繕

◇近頃の家內勞働口

人の出代り期で口が殖える

但し給料は不景氣で下落す

相變らず高給で歡迎される夫婦者

『今月に入つてから田舍の別莊事務を取るのは却々困難だつたのです處が先月末から近頃は大分仕事口が多くなりました』昨日市內の一桂庵を訪ねて最近の

▼家內勞働 仕事口景氣に就いて聞くに主人は斯う申慨した

▼今月始めに 掛けて別莊から歸つて來た家が多く夫れに伴ひ家內勞働者の出代り時となりやうやく新しい仕事口が絕わり人は相變らず多いのですから桑港に來さわれば直ぐに口が取れると云ふ譯には行きません

▼不景氣と 見り給料も下る一方で今迄タックに九十弗拂ひて居た家庭も今度は八十弗の賃を寄越して呉れと言つて來る始末です人が尠ない時なら格別だが近頃只遊んで居るよりは少し位給料が安くつても行つて見ようと云ふ人が多いので給料の下つて行くのは寧ろ

▼當然の事 でせう現在の給料相場は二ケ月前に比較すると五分乃至一割方下タックが普通七十弗乃至九十弗タック助手、ハウスボーイ等技術無しの所では五十五弗から七十弗止りが見當になつて居ます、不思議なのは夫婦者の給料で他の仕事口は下つても之丈けは相變らず百五十弗內外で居ますから

▼絕頂期の 百五十弗內外を未だに少しも下つて居ません

▼非常に 尠くなりました

矢張り米人勞働者間に失職者が多いので此方面の需要は日本人に迄及ばざるなくなつたものと見ります、排斥し始めたとかそんな意味ではありません又近頃は支那人に別段變りは無いが比較的に殖えたキルムで例の白衣團の南北戰爭當時に於る活動を取扱つた

●紐育港の大獲物

希臘船員三百名

＝禁劑百萬弗押收＝

昨日紐育港內に密航、禁劑密輸入罪ざより死者二名、負傷者八名、收監者三百名を出したる一大椿事突發せるが詳報に見るに

●賑かだつた加州誕生日

各地で種々の催

加州聯邦加入日、七十一回の誕生日である昨日は加州何處も樂しの催があつた

▼首府△ サクラメント市では折柄州共進會開催中であつて特に祝賀會及び種々の競技があ

▼桑港附近で懸賞

▼希臘 流船アレキサンダ號に入港せる

▼收監 すると同時に密輸入目的の禁酒價格百萬弗を押收密航者十數名を發見しユリス島移民局に收容せりと

▼活畫館內で禁劑を密賣す

▼捜索された屋人

▼狂人か夢遊病者か

▼青年會屋內運動會

▼日本行切符とエビスホテル

▼患者の福音

▼金一△ 公園では祝賀の音樂を奏し市公會ではネーチブン及びドーターが出席して二時

▼非常に 尠くなりました

▼近頃の家內勞働口

▼今月始めに 掛けて別莊

▼當然の事 でせう現在の

▼絕頂期の 百五十弗內外を未だに少しも下つて居ません

▼不景氣と 見り給料も下る

▼非常に 尠くなりました

▼今月始めに 掛けて別莊

▼當然の事 でせう現在の

▼絕頂期の 百五十弗內外を未だに少しも下つて居ません

▼不景氣と 見り給料も下

御祝儀
御佛事
御菓子
鑵入銘茶 各種
桑港ポスト街一六九九
御菓子司 松屋
電話ウエスト五三六六

易活斷 南北館
規則書入用の方は二銭切手送付
桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト七五一九

グリー街一五〇九
電話ウエスト八七五五
谷靴店
各種靴
大勉强販賣
並に修繕

夜間九時後ウエスト七五一九
伊津野醫院
（五車至二階）

桑港グリー街一五一五
電話ウエスト三九二九
秋期種痘
九月一日より

桑港ポスト街一六九四
電話ウエスト八八七
矢車 松野

桑港ポスト街一八〇七
電話ウエスト八八七
財滿商會

桑港ポスト街一八〇七
みとま

シンガーミシン
電話ウエスト一〇五四
元吉寫眞館

桑港ポスト街一八〇七
電話ウエスト一九七七
桑港魚市場

鮮魚、精肉
和洋食料雜貨一切
蒲鉾製造卸小賣可
桑港ポスト街一七四七
電話フルモア四二九四

桑港ポスト街一八〇七
電話ウエスト七三六三
鐵工蒲鉾鯖注文に應じ申可
桑港ポスト街一七四七
電話フルモア四二九四

桑港ポスト街一八〇七
電話ウエスト一九七七
桑港魚市場

謹告
小生儀桑港旅館組合主催第八回母國觀光團々長として歸國致す事に相成り居り候處一身上の都合に依り一時歸國を中止し團長後任として同幹事田中仙太郎氏を推擧仕り候間取り敢へず茲に謹告致し置き申候也
大正十年九月九日　明石順三

米國麹並味噌の元祖
大印薄利多賣主義を以て品質の優等なること天下無比の誇に愈々大々的に販賣開始す百聞は一見に如かず一度御使用あれ
Kagetai Koji Co. 1534 Post St. S. F.

1645 Buchanan St., S. F.

最新刊書籍紹介
大澤米造　濱田榮子戀の哀史　一、二〇
麗本目南　元祿快樂眞相錄　五、〇〇
クロフエ　美の哲學　二、八〇
土田杏村　象徵の哲學　二、〇〇
石川三四郎　古事記新研究　一、七〇
田山花袋　海上の春　一、七〇
宇野浩二　空しい誘惑　一、八〇
加能作次郎　黑岩涙香　二、〇〇
宇野浩二　破天荒　二、〇〇
同　人の運　二、〇〇
藤森敬次郎　參考日本歷史　七〇
子安農園　乳牛の飼ひ方　二、〇〇
宇田川孝童　琴古流尺八講義　二、〇〇
文部省纂　口語文用例集　六〇
株式會社　よろづ商店
1300-4th St., Sacramento, California

B
御祝、佛事用
御菓子司 並に卸小賣 勉强堂
桑港グリー街一五三三
電話ウエスト七五三七

小幡裁縫學校
材料供給
客宿歸電
桑港ポスト街一八一〇小幡繁子
1625 Buchanan St., S. F.

巴裁縫女學院
御菓子卸小賣
武田菓子製造所
弊店は日本渡上場に最も近く御歸國者御土產米者の贈り物用併菓子の製造をして居ります
桑港　ナウスパーク一二八
電話カネー二九九七

英語個人教授
グリー街一四〇八七セスカイル
歸國み付き
特別廉價賣却
メンロパークにて向ふ三年間一スある一年もの毎三英町半水便豐富にて家屋並にバーン付き主人歸國の爲め大至急賣却す希望者は左記へ御照會を乞ふ
佐藤商店
738 Ramona St., Pal. Alto, Calif.

桑港フイルモア街一四三七
電話ウエスト六三六〇
原田寫眞館

桑港フイルモア街一四三七
電話ウエスト一〇五四
尺八
獨習音譜、金一弗
桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト
Mabel Coleman & Lloyd
2006 Bush St., Near Lyon St., S. F.
質用英語學校（手紙教授）
桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト
吉里寫眞館
桑港フイルモア街一四三七
電話ウエスト八六五〇
御祝御佛事用
御菓子司 花月堂
長崎名物カステラ特製
桑港ポスト街一四三一
電話ウエスト六八三一

新たに出國、稅拂戻請求手續事務開始
出國稅拂戻事務 主任 五味保
T. Okagawara, Hearst Building San Francisco, Tel. Sutter 3127
大河原法律事務所

1562 Webster St., S. F., Calif. Tel. Fillmore 2911
中山法律事務所
法學士 中山濤益五郎

桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト
一日十仙 たやすく買へます
シンガーミシン特價販賣
太田永太郎

カ正味噌糀
藤本商會
桑港スクラントロクト街一〇一四
電話カネ一三三九

桑港唯一
日本人向き
男女特製靴
婦人靴見切物大賣出し
桑港ポスト街一七一七
大橋靴商店
電話ウエスト一三二九

醫科大學專門教授紹介並
及び大手術監督等遺憾なく悉切に取扱申候
桑港ブキャナン街一六四四
電話フイルモア四六二
門野普光
1644 Buchanan St., San Francisco, Calif.

電報書は御申込次第直上ます
TAMURA YASUHO, 1703 Buchanan St., S. F. Cal.
タムラ藥舖
貴洋賓樂器に男女用品一式

ロスアンゼルス (七日)

南加各日本人會 會長會議

▲中央日會主催の下に各地日會幹事會あり更に昨八日中央日會主催南加各地日會長會議を開催來會者は左の如し

羅府桑井整▲アナハイム▲北崎千三郎▲ロングビーチ▲水野芳太郎▲モルガン水野▲サンタアナ▲大山甲▲サンピエドロ▲甲斐政次郎▲リバサイド▲新谷立助▲サンペドロ▲大山忠三郎▲サンゲーブル▲我治平▲サンバーバラ▲朝倉倫吉▲メルザ▲國樂次郎▲海部市原▲久保新作▲サンピエドロ▲内田龜三▲代理▲サンペドロ▲森川正人▲代理▲中日常盤▲藤岡次郎▲中村万吉▲永谷次

なりし同大學は來る十二日より十四日迄第學期入學登錄を爲しめ授業を開始する由

●酒類密醸者に嚴罰 合衆國トリアット判事は酒類密醸及び密輸者に嚴罰を課する方針を執り昨日フレッド・ホールなる者が僅かに半パイントの强酒を賣らんとしたる廉を以て千弗の罰金に處したり

●西公使の來羅 無任所公使西源四郎氏は南米智利獨立記念祭特派大使として出張聲洋丸にて歸朝の途次來羅芝崎領事の出迎を受けアレキサンダーに一泊の上歸船

●人名辭典と川岡氏 本社發行後茅野中日會長岡會の挨拶を述べ大山領事も一場の希望演說を爲したるが

△土地問題討究 時局對應調査は殆んど其眼目裏に幹事會にて決議せし打開策實狀調査の件につき一致協力して其目的を遂げ的確に近き數字を以て統計表を列擧せられんことを熱望しやがて議事に入りて各自所見を陳し結局土地法實施後の影響調査を爲し是れが根底として時局對應の善後策を講ずるとに一決更に重要問題に關する協議を重ねて散會せるが遠隔の地點より出張して同胞の現狀を展開し將來に資する劃策を樹立せんとする諸氏の勞を多とすべし

●羅港修築工事繼續 昨七日當地商業會議所書記會をアレキサンダーに開催オスボン下院議員の卓上演說ありたるが政府及び議會は協力して經費大節減を斷行したるも既に計上せしサンピエドロ港修築工事は中止せず完成すべき旨發表せり

●八月中の政府徵稅高 當郡內は昨年八月中中央政府收稅額一千萬二千三百九十六弗記念日に相當するを以て土曜日より記念祭執行の由

●富豪宅で支那人の殺人 聖林ガルヴェル氏方にて多年就働せし支那人林榮は嫉妬の揚句白人自動車操縱者を射殺し自殺を遂げ一時は大騷動なりし由

●棉花の大取引 カレキシコ在シャンタ氏は去る七日断有の三千ヴェールの斤十七仙五厘にて販賣したる盤目更に鉱段は飛躍したり

●南加大學入學期 暑中休暇中九百廿二年度稅率を定めたるが教育費として市内は百弗に付二弗五仙郡は百弗に付一弗七十五仙なりと

●キ郡の邦語學校 キ郡バンフォードの日本人學園は幼稚園並に邦語教育とも來週火曜日より授業を開始する由なるアモナ邦語學園も同日より授業する由貴はアモナ學園は父兄の組合を五つに分け一組の父兄が交々迎へする由

●ノーピスの出河 クローピス地方の生產業者は毎日二貨車のグリーンフルーツをシヒピングしつゝある由

●出生 在バイ熊本縣人友岡新平方には去五日二女靜子在ダイニウバ鹿兒嶋縣人野村明二方には去六日長女靜江布和歌山縣人高井榮吉方には去る七日長女八重子同熊本縣人高橋以敬方には同八日長男事敬在サンガーリ金澤縣人小酒部甚之助方には二男實何れも出生

●歸國 セルマの農業家皆本慶次郎氏は來る十月の天洋丸にて家族同伴歸國來春四月再渡航する由

●死亡 布市六華亭の共同者なる愛知縣人田中濱吉(四七)氏は去六日死亡明九日午後一時布市佛教會に於て葬儀執行の由

●汽車に跳ねらる 在リードレー福岡縣人堺安藏氏は昨日午後六時頃自己のトラックにてフレスノに來る途中リードレーより二三哩北の分サンタフキー線の踏切にて折柄南行の乘客列車に跳ね飛ばされ約三十尺も引きずられ背中及足部に負傷し早速リードレーの病院に送られ應急手當をうけ一時危篤なりしが其後の經過良好にて生命には別條なし

●栗屋氏の返狀 滿州に移住したる栗屋萬藏氏の近信に依れば同氏は大連市外西沙河口大連苗圃官舍に寓し着々農事經營の準備中の由

●布市の兩學園 布市佛教會日本語學園は來十二日より新學期を開始し寄宿舍は十一日より入舍せしむる筈に付希望者は申出ありたしと亦組合教會內の フレスノ學園同日より開校する由

ニュージランド (八日)

王府日本人會 参事員會

▲安全第一に寄附金 王府日本人會は八日午後八時より幹事會を開催出席者は増田會長、中重榮太郎、照井內吉、高繁喜、山下金吾、吉富市太郎、太田源吉、村上淺次郎、丸山保、横溝元右工門、光內正直、小杉嘉男里の諸氏十二名尾崎幹事より鹿豚果常に沙法止あの委なりしが最近に至り市內百六十名の商人署名の上昨夜又々市參事員會に同樣の提出を見るに至れる由停留時間を一時間とし發表せる區域は左の如し

マーケット街にてセントデゴン、街よりサンフアナンド街まで、第一街にてセントジョン街まで、第二街にてサンタクララ街まで、サンタクララ街にてマーケット街より第三街まで、サンアントニオにてマーケット街より第二街まで、ポスト街にてマーケット街より第一街まで

●美以教會年會 本月十五日より同會市日本人美以教會にて開催の筈なる第二十二回太平洋沿岸美以日本人年會執行順序左の如し

△準備年會 九月十五日午後八時歡迎會 同十六日(月)午後八時歡迎會 同廿四日(月)午後八時歡迎會 同廿五日(月)午後八時歡迎會

△總會 同廿六日(火)午前九時總會 同廿七日(水)午前九時總會 同廿八日(木)午前九時總會

△主日學 同廿六日(火)午後二時主日學 同廿七日(水)午後二時主日學

△禮拜 同廿六日(火)午後八時禮拜 同廿七日(水)午後八時禮拜

△聖餐 同廿六日(火)午前九時聖餐 同廿七日(水)午前九時聖餐

△聖餐 同廿六日(火)午後二時聖餐 同廿七日(水)午後二時聖餐

△聖餐 同廿六日(火)午後八時聖餐 同廿七日(水)午後八

●一陽來福乎

スタクトン（八日）

▲當地方は昨年よりも今夏にかけて非常なる經濟的不振で若し此儘に今年續いて行くならば破產者續々を接するであらうとまで悲觀されたる程であつた然るに八月に入つてから河下アニオンのプライスがメキ〳〵騰貴し尤も一高一低は時に免れなかつたけれども兎も角最低一弗七十五仙を下らず昨今は二弗五十四五十仙も唱へて居る有樣である

▲ポテトーも最低一弗七十五仙の時もあつたが現在は二弗廿五仙位から三四十仙迄の相場である斯くて頗る不振を呈したる當地方の同胞經濟界も漸く色めき來り何となく一陽來福の觀ある

▲御互慶賀に堪へず第次第であることは御互慶賀に堪へず第次第であることは御互慶賀に堪へず第次第であることは

The Japanese American News

The New Policy.

The following is a free translation of an editorial in Japanese published in The Japanese American News last Tuesday:

A SPECIAL CABLE to this newspaper from Tokyo says the Japanese mission to the Washington conference will make special arrangements with the steamship company to have the liner Kashima Maru leave Yokohama five days ahead of her scheduled date for sailing, on the fifteenth of October, and that the delegates may be expected to arrive in Washington not later than the last day of October.

The Japanese government has not determined upon Japan's representatives at the conference thus far, nor is it necessary to hasten a decision. But the policy and attitude of Japan as regards the conference should be decided upon at once.

The general trend of the arguments appearing in the press of Japan since the call for the conference, is too sentimental. It is argued that the conference will be an obstruction in the path of Japan's progress. Also, they offer explanation of this and of that. But no great constructive policies are advanced by any. There is no urging to grasp the opportunity and blaze the trail for a new era of international life in Japan. None urges her to assume the leadership in the maintenance of peace in the Orient and in the progress of the peoples of the Orient. The consensus of opinion expressed by the Japanese press is far too short-sighted to earn our approval.

Perhaps some of the greater statesmen are making a study of the situation, considering what new policies should be adopted for the occasion. But any national policy should be formulated on a basis of the desires of the people. Therefore, the ideas and wishes of the people should freely be made public, and when the general will shall have been sounded, it should be the task of the great statesmen to transmute that will into a concrete policy.

We have observed no great policies advanced by the newspapers, and they are, in the last analysis, the organs for the dissemination of popular opinion. On the contrary, they publish opinions of a pessimistic nature, or assume an attitude either too sentimental or too antagonistic. Very rarely do they break through these limits. From this circumstance, it seems to us, Japan is apt to follow her usual tepid, irresolute, compromising policy at the conference.

The most powerful group in Japanese political life, the junkers and the militaristic clan, may have sown their seed broadcast and opposed their propaganda to the arguments of the progressives. They will never change their old policy, but they are likely to influence policies objected to by other countries at the conference. We term this attitude an attitude of unconsciousness, and this may be the attitude of the Japanese delegates.

As Professor Suyehiro said, Japan should never assume the position of the defendant at the conference, but should stand in the attitude of the plaintiff. But if she goes to the conference without any constructive policy and merely tries to find ways and means of carrying on, according to what arguments other nations may advance, then by her own motion she will place herself on the defensive.

No matter what ideas may be advanced by other nations, Japan should stand by her original policy as to the peace of the Orient and the progress of the Orient. If she entertains her own convictions then she can argue her own policies, and can even go so far as to suggest policies that she believes England, the United States and other nations should adopt. She must have original and constructive policies if she is to take the leadership in matters Oriental. Her policies must be backed by preparation and determination. This preparation and determination must spring from a national policy, which, in turn, must reflect the will of the people.

Japan is bent upon the solution of many old problems that will come before the conference. The Yap problem will be disposed of by giving way to the claims of America. Soon she will open direct negotiations with the Chinese government on the Shantung problem. Already she is negotiating with the Chita government on the evacuation of Siberia.

This haste in arriving at the solution of international problems will have some meaning when Japan shall have a new great policy. Without such a policy, it will look more like an apology.

There is no need for hurry in the selection of delegates; let us formulate the new policy first.

American Missionaries.

IT IS a plain and noticeable fact, said The Japanese American News in Japanese last Monday, that greatly increasing numbers of American missionaries have been crossing the Pacific Ocean during the past few years to preach the gospel in China. Those American missionaries in China have too intimate relations with the anti-Japanese movement, either directly or indirectly. How the people of the United States regard this in the light of the peace existing in the Orient and also in the light of Japanese-American amity is something we hope to find out.

Not only should China be grateful but all the Orient is benefited by the great American cultural undertakings in China. The spreading of religion, the expansion of education, the improvement of health conditions are zealously carried out by Americans in that country. These activities have been intensified during the last few years, expenditures have increased and more persons have been engaged in the various undertakings. But in the event that the unity of Chinese thought brought about by these cultural policies of America was wrongly used by Americans, that conversion is to be regretted, for the honor of America.

Many years ago Jesuit priests preached their gospel extensively among the nations of the Orient. Many of them landed in Japan, and, like a gale tossing dead leaves about, they made great strides in preaching the doctrines of Jesus Christ. But they did not go merely to preach. They have been hiding some sinister schemes behind them; to be specific, those priests were strongly tainted with aggressiveness. This fact is clearly seen in the result. The exploitations of the Jesuit priests were not limited to the Orient but were seen also in Africa, the South Sea islands, and even in South America the same tactics were employed. And this practice has been kept up ever since. The sizure of Shantung by Germany was brought about by the same agency.

The passage of the great number of American missionaries to China and their subsequent activity is quite different from the activities of the Jesuit priests. There is no aggressiveness in their aims. They simply engage in the task of converting Chinese to Christianity. But there is one point which we cannot lightly pass over. That is, there are many American missionaries in China who are not of very respectable character. As religious workers they are utterly lacking in refinement.

Some of these American missionaries were sentenced to prison terms and others ejected from Korea because of their connections with the Korean uprisings. It is a known fact that the breeding ground of the anti-Japanese movement in China is the Y. M. C. A. conducted by Americans. There are many American missionaries who openly attack the Japanese policy in China upon their return to the United States. For these reasons the criticism is heard that they do not contribute much toward the peace of the Orient. Sometimes they are condemned as undesirable in the Orient. Some even request them to leave that field. These facts command the attention of level-headed Americans.

There may be some undesirable Japanese in China, but in general the Japanese are agreed in the hope of cementing friendly relations with China. They would co-operate with the Chinese, offer them all necessary assistance. At the same time they would foster economic expansion on the continent of Asia with a view to stabilizing their national life. They would part evenly the fortunes of Japan and China.

This hope is in danger of being gradually shattered by China. And on the backs of the Chinese stand the American missionaries. This fact is greatly regretted by Japanese. But, disregarding this unfortunate situation, more and ever more missionaries are going to China. Why is it so? We sincerely hope the American people will give thought to these things.

In the near future, we are persuaded, America will realize that it is advisable to cooperate with Japan in all undertakings for the weal of China. But until that time shall arrive, it is wise to avoid all unnecessary trouble between the two nations.

Japanese Language Schools Teachers.

THE SPECIAL COURSE of instruction for teachers in the Japanese language schools, held for two weeks in the Japanese Y. M. C. A. in San Francisco, beginning August 22, was attended by more than 100 instructors from the bay cities and from Sacramento, San Jose, Salinas and other cities. Seventy per cent of the teachers in attendance were women.

Examinations were held last Wednesday. The result has not as yet been announced. Those who passed successfully will be issued licenses to teach in the Japanese language schools for the next two years. At the end of that time they will be required to pass examinations in English.

An interesting fact connected with the course was that it showed that the Japanese men and women attending had clear ideas concerning the American government and American institutions.

Japan's Welcome to Ambassador Warren.

AN OLD MAN'S REVERIES

(Continued from last Saturday.)

"Special prices for foreigners" which the Akasaka greengrocer inscribed on a window card the other day are not a new invention. There was in the earliest days a fixed tariff for foreigners. To cross the ferry to Kanagawa the price for the foreigner was sixteen times greater than for the native. In the theater the foreigner paid one *ichibu* and was deposited in the "seats of the deaf," high in the gallery. Satow grew tired of this and planted himself in a regular box. The management refused to accommodate him. He declined to budge, insisting on his rights as a member of the public. The manager said if he did not come out of that the curtain would not rise. Very well, said Satow, and settled down. The audience was amused and sided with the foreigner and after some patience had been exercised the curtain rose and "racial discrimination" was at an end in that particular department of life.

NO EXTREME EMOTIONS.

The feelings of Yokohama residents who visit the capital nowadays are in no way extreme. They may be bored or mildly interested. Gone for us is the "intense delight" with which young Satow found himself when ordered to accompany his chief to Yedo one day towards the end of 1862.

"We started on horseback in solemn procession, the party consisting of Colonel Neale, charge d'affaires. A. von Siebold, Russell Robertson and myself, with Lieutenant Applin commanding the mounted escort. At Kawasaki we encountered an obstruction in the shape of an obstinate ferryman who did not recognize the British charge d'affairs and refused to pass us over. The colonel fumed with wrath but fortunately there arrived in breathless haste a mounted officer from Kanagawa . . . We proceeded on our way without any special incident until we reached the notorious suburb of Shinagawa, half consisting of houses, or rather palaces of ill-fame, where a drunken fellow who stood in the middle of the road and shouted at us got a fall from one of the troopers, and so we reached the legation about sunset. The rest of the staff and the infantry guard, who had come by sea, landed an hour later."

The British legation of that day was the Tozenji temple at Takanawa, and when it was occupied a gunboat lay in the shallows inside the Shinagawa forts to produce a moral effect upon the population.

NOVEL AMUSEMENTS.

The amusements of the foreigners in Yedo were simple but sauced with novelty. They used to ride to the Asakusa Kwannon or visit Atagoyama, or the Fudo temple at Meguro where "the pretty damsels at the teahouses formed more than half the attraction."

Wherever they went a band of mounted guards surrounded them to prevent their speaking to any person above the rank of a common citizen or entering a private house. They were allowed to go into shops but might not buy maps or a publication called the List of Daimyos. There were compensations which unfortunately they did not realize. A complete set of Hokusai's Mangwa in perfect condition could be had for a couple of dollars and Hiroshige's Hundred Views for a couple of shillings. A modern copy of the latter work now costs twenty times that sum, and originals are for the millionaire.

The first foreign dinner ever given by a Japanese was arranged by Ito, afterwards the Prince, at Shimonoseki after the peace had been concluded between the foreign fleet and Choshu. Ito had built a table seven feet long by half that width. Four plates were laid, flanked by long knives, villainously sharp, attenuated brass spoons with flat bowls, and a pair of chopsticks.

The first dish consisted of a boiled rockfish which I found great difficulty in cutting but accomplished the task at last by inserting a sharpened chopstick into the head and using a spoon to remove the flesh. Soy, a large bowl of rice, and a small saucer full of coarse salt were also placed on the table.

The second course was broiled eels, and then came a stewed terrapin, both of which were very good, but the boiled *awabi* and boiled chicken which followed were quite out of the question. It was a problem how to cut up a fowl with a knife that had no point and whose blade threatened at every moment to part company with its handle. I abandoned the attempt and served my companions with slices from the breast. Unripe persimmons with sweet rice beer (*mirin*) were now produced and this was excellent."

Considerable progress in the culinary art has been made since those days.

THE END.

CONFUCIANISMS.

THE MASTER said: "Mang Che-fan does not boast of his merit. Being in the rear on an occasion of flight, when they were about to enter the gate, he whipped up his horse, saying: "It is not that I dare to be last. My horse would not advance."

* * *

THE MASTER said: "Without the specious speech of the litanist T'o, and the beauty of Prince Chaou of Sung, it is difficult to escape in the present age."

MISS "DEEP SNOW"

(Continued from Last Saturday.)

UPON RETURNING to his clan Komazawa Jirozaymon set himself heart and soul to the task of aiding Ouchi Yoshioki in carrying out reforms in administration. He grew even greater in the favor of his lord.

One day all was bustle in the household of Jirozaymon, getting things in readiness for a fitting welcome to his lord, who had announced his intention of honoring him with a visit in his home. The sweeping and dusting proceeded apace, and as they worked the maids laughed merrily, their tongues as busy as their hands.

"Surely," said one, "there is none in all the world to compare with our master, in looks or in mind. She will be a lucky woman who becomes his wife. He is such a gentleman! She will be be the happiest woman in all Japan!"

Lord Ouchi, attended by Iwashiro Takita, arrived at the appointed hour. Jirozaymon, with all reverence, welcomed him at the portal and ushered him into the guest room. "It gives me great satisfaction to see you well and in good spirits, my lord: I am grateful that you deign to honor my humble dwelling with your presence. No greater honor could befall our family, my lord.

YOSHIOKI IS WORRIED.

As soon as he was seated Yoshioki said gravely: "There is a rumor that the remnants of the Otomo faction are prowling about in the bordering provinces trying to stir up rebellion. If we leave them unmolested a very serious state of affairs will develop. What do you advise? Shall we strike now and try to wipe them out once and for all?"

"That, my lord," Takita protested, "is out of the question. The Otomo partisans are not, by any means, to be made light of, and if, at the rallying-cry of war, all of the adherents of that house made head against our clan from several provinces our peril will be very grave indeed. They will muster so strong that to face their great forces with our small army would be more futile than to attempt to smash a large rock with a hen's egg. I think the safest course for you is to go again to Kamakura and by leading a life of pleasure there to distract their attention from us, and so avert the danger."

Jirozaymon saw at once the treachery that underlay Takita's suggestion, but dissembled his thoughts with a show of utter ignorance.

JIROZAYMON'S STRATEGY.

"Takita is right in what he says, but I have an opinion of my own, my lord." Jirozaymon said deliberately. "However, discussion of this question will bear waiting until another time. For today, my lord, I would beg you to make yourself comfortable in my home."

Yoshioki readily assented to this proposal and quietly retired into an inner apartment set aside for his use. The two *samurai* followed.

As the sun was setting and the dusk gathering there came a knock at the front door of Jirozaymon's residence. Answering the summons in person, he found a man who introduced himself.

"My name is Sekisuke. I serve Okizuki Yuminosuke, chief councillor of the Kishido Clan of Aki Province. Business of the gravest importance has brought me to your house, sir."

Scanning his visitor narrowly, the puzzled *samurai* caught sight of a beautiful young woman hiding bashfully behind Sekisuke. What need to tell that this was Miyuki?

"Are you indeed Sekisuke? Often have I heard of you." With this show of familiarity Jirozaymon held his emotion in check. "For all the trouble you have taken for Miyuki's sake I owe you hearthy thanks. How happy I am to see you again, Miyuki!

"A few days ago, when I chanced to fall in with you at Shimada, I had a great desire to make myself known to you. But, in the presence of my traveling companion, I, of course, could not do so. Please overlook my apparent unkindness. I take it that the restoration of your eyesight is due to the specific that I left with Tokuyemon for you. Nothing could give me greater joy, my dear!"

MIYUKI IS OVERCOME.

Unable longer to control her emotion, Miyuki burst into tears. She could not speak for sobbing, so Sekisuke spoke for her, relating all that had befallen her.

"As she is now completely restored to health," he concluded, "I have brought her here without delay, and I am very glad indeed to find you well. I can imagine how happy Miyuki must feel."

"It seems to me," answered Jirozaymon, "that my lord willing, it is high time that we should wed. Happily he is here in my house this very minute. I shall go at once and ask his consent."

Not long afterward the happy lovers exchanged the nuptial cups in the inner apartment, in the presence of Lord Ouchi. A few days later their wedding was celebrated with a splendid banquet.

* * *

The treachery of Iwashiro Takita came to light shortly afterward and he met a traitor's death. Arataye, the old heroine of Mt. Maya, killed herself for some unknown reason. Her followers all dispersed in despair.

THE END.

Disarmament Thoughts.

SEND IN your essays on Disarmament and compete for one of The Japanese American News' Prizes! One hundred dollars in cash will be given to the four Japanese sending in the best contributions—$50 for the first best, $25 for the second, $15 for the third and $10 for the fourth.

You don't have to consider this newspaper's views, remember! We want your views, whether for or against international disarmament.

The editors of The Japanese American News will consider all manuscripts written in English and received up to midnight of October 15.

Write on one side of the paper, preferably on the typewriter.

Limit your essay to 500 words. Nothing longer considered.

Put your name, address and number of words in your essay on the title page.

Get busy!

WHEN THIS OLD WORLD WAS YOUNG.

(Continued from last Saturday.)

FIREFLIES

"FOR THIS WILLOW TREE the season of budding would seem to have returned in the dark—look at the fireflies."

In ancient days firefly-hunting was one of the amusements of great nobles, but today it is the pastime of children only. These hunting parties, however, have lost none of their picturesqueness, and the flashing insect has been the theme of many an exquisite poem such as: "Ah, the cunning fireflies! being chased, they hide themselves in the moonlight!"

Grown up people, however, go out to see the fireflies with the same ardor with which they indulge in flower-viewing. To the minds of these great Nature lovers the fireflies resemble dazzling petals of some strange fire-flower or a host of wandering stars that has left the sky to wander upon the earth. During the summer thousands of people visit Uji in order to see the Hotaru-Kassen, or Firefly Battle. From the riverbank dart myriads of these flashing insects, and in a moment they form a great silver-shining cloud. The velvet becomes a winding stretch of gleaming jewels. No wonder the Japanese poet cries: "Do I see only fireflies drifting with the current? Or is the Night itself drifting, with its swarming of stars?"

There is a legend connected with this fascinating spectacle. It is believed that the Minamoto-Firefly and the Taira-Firefly are the ghosts of the old warriors of the Minamoto and Taira clans. On the night of the twentieth day of the fourth month they fight a great battle on the Uji River. On that night all caged fireflies are set free in order that they may fight again the old clan battles of the twelfth century. The ghostly significance of fireflies is further strengthened by the fact that these insects are fond of swarming round willow trees—the most eerie trees in Japan. Fireflies in ancient days were supposed to possess medicinal properties. Firefly ointment was said to render all poisons harmless, and, moreover, it had the power to drive away evil spirits and to preserve a house from the attacks of robbers.

OUT OF LUCK.

By SHICHISHI ITO.

JAPANESE seem to believe in numerals. It is reported that the number of members of the Japanese delegation to the Washington disarmament conference far exceeds all other powers.

* * *

FORD cut down Fords. We surmise accident insurance agents will do good business hereafter.

* * *

HOUSE CLEANING COMPANIES in Tokio seem very prosperous. They have lots of jobs at Yap, Shantung, Siberia and elsewhere before November 11.

* * *

CONSTANTINE is not popular in Constantinople.

* * *

ACCORDING to the author of "The Mirrors of Washington" Harding's artistic taste is the movies. If it is true, the war films taken in West Virginia should please the gentleman from Marion exceedingly.

* * *

THE so-called Far Eastern questions will become more complicated if oil wells are discovered along the Chinese coast.

* * *

ALL commodities have dropped except tar and feathers.

* * *

IN HONOR of Manila Bay, John Hay invented that brilliant fiction, the "open door" in the East. Hughes may insist upon the noted "open door" policy in honor of Yap, the much disputed tiny isle, at the Washington conference.

* * *

"AFRICAN for Africans" Plan Is Repudiated—Headline. Seems colored gentlemen won't draw the color line.

* * *

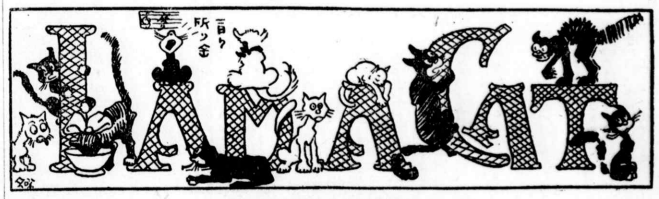
BACHELORS should console themselves with the report that there were 331 divorce cases in San Francisco last month.

* * *

"GERMANY Turning Toward Religion!" Not too late. They shall be saved if they will forget their favorite "Gott Strasse" creed.

* * *

WILSON failed at Paris because he put the League of Nations first. We advise Harding to put the chemical warfare bill before his much heralded Association of Nations at the coming disarmament conference.



By SOSEKI NATSUME.

(Translated by a Japanese Schoolboy.)

"YOU OUGHT better to buy an hat like that." Thus now the Mrs. go on to urge her husbland.

"But Mr. Kushami own one grand straw hat, hasn't he?"

"Well, but children crush hat through roofs recently."

"That are all wery regrettable!"

"And that are why I presume he better buy one just like as yours, envincible and pretty."

She do not imagine the plice of Panama hats and so she urge the wily master earnestly.

"Deside on this, my dear!"

Now, Meitei have produced a pair of scissors from out of his long sleeves enclosed all in the red case and showed them at Mrs.

"Madame, darlink, so much for the hat. Now just attend and glimpse these here scissor. They are wery conwenient and you can employ them in fourteen different and various manner."

If these scissor do not make an appearance, I are sure Kushami would have been betortured by Mrs. with that Panama, but fortunately Mrs.' womanly culiosity have turned the tides and rescued Kushami from inewitable calamities. This can hardly be credited to the tact of Meitei, it are like a fluke, I dissertate.

"How could them scissor be used fourteen different and several way?"

As this question been put in front, Meitei got more elewated hisself and went on:

"Now I shall ploceed with each and all explanation about the use of scissor, so you just lay off, hark and listen. Are you all set?

WONDERFUL SCISSORS.

"Here are a curvature shaped like as the new moons. You put end of cigar and cut it in jiffey. Now here are a makeup at the base and so you can cut wire easily. You place it on paper flat and you can use it as a ruler. There are marks on the back of the cutting surface and you can use it in the place of a measure. There are a file on this here end and it are used for grinding of nail. Now, all right?

"You just stick in this end on head of screw as hard as you could, then you could use it in event of hammer. Stick it under a lid, then you can open a nailed box with readiness. Now, wait, prease! This end here are for a gimlet. This part are for scrubbing out word written by the mistake, and if you separate it by piece it become a knife, thusly. Now for the last of all—see, Madame, dahlink!—this latest one are more enticing. Here are a ball about the size of eye of fly, just inspect of it."

"I don't like it! Take it away! I susprect you pran to fool me."

"That are so wery bad. I have no cledit with you, then? I are much worried. Oh, dear, I know I won't sleep one wink this night! But make up your mind to enjoy a joke on you and just grab a peep. Do not you admire? Just wan fraction of moment!"

Meitei thus wile the Mrs. and place scissor in front of her. Mrs. take the scissor up gingerlike and she placed her eye on eye of fry and aim at it.

"How are it?"

"It are merely black."

"Black? That are most certainly no good. Face to the paper slidding door. No, don't lay the scissor that way. Yes, yes, I suppose you can see it now."

"Oh, my dearie! It are wanderful photographs. I wander how long they pasted on such small picture as this?"

"That are plecisely the point of intelest!"

THE MASTER IS INTRIGUED.

Madame and Meitei continue of this quistening and ansering. The oil master, who maintain silences since some time ago, he seemed to grow in desire for looking at the picture and speak:

"Say, sir, let me see it wan moment, if you please!"

Keeping her face on photograph Madame make the answer:

"How beautiful! How grand! How nice! How cute! It are a beautiful woman in her birthday suit!"

She held on to it closely.

"I make remark, please let me inspect it for ever so short time."

"Oh, you silly old dodo, you just wait a while. How pretty hair! It shows her up to waist. She are turning her face heavenward. She are almost a fraction too tall, but she are beautiful nevertheless and notwithstanding."

"Say, I beseach you, let me sclutinize it, don't you hear, darlink, it are about time to hand it at me, prease!"

Now the impatient master are growing weary with excitement and falls on his wife.

"Sorry for keeping you wait," she exprain. "Look and admire all you want."

When she hand the scissor over at her husband, serwant girl appear from ketchin and announce arrival of guest's order and brung in couple baskits of buckwheat wermicelli.

"Madame, this are what I ordered for myself on my own expense account. I begs your excuse and I shall indulge in biting and gobbling and swallying the eats."

He make bows politely. His action are a admixture of seriousness and fun and Madame lost and did not know herself how to make the respictful answer, so she spreak lightly:

"Why, most certainly!"

Just like that.

NEW ONE ON HIM.

Now the sempiternally hungry master ceased his gaze and quistined:

"Buckwheat wermicelli! What in the world are that? It must be onhealthy food on such hot day like this."

"No worry. What you like never do you harm."

He ploceed to lift the lid.

"Just created! Fine and dandy! The old sogy buckwheat vermicelli and the flat human being not altogether reliable."

At the same times he admix spices in source freely and wiolently.

"Say, it will grow too strong if you put so much *wasabi*."

The gluttonly master call attention with worry looks.

"Buckwheat wermicelli are to be relished with the sass and spices. I plesume you don't admire to eat it?"

"But I do appleciate wheat wermicelli."

"Wheat wermicelli are merely food for packhorses driver. A man what do not realize the taste of buckwheat wermicelli are sure wan supremely miserable persons."

He strike in the redwood chopstick forcibly and lift up as much as he could to about two inches of height.

"Madame, there are many a style in the sense of eating buckwheat wermicelli. Beginner always use too much sauce and mumble over food too much. That style won't give you real taste of buckwheat wermicelli. This are only discreet way—hook it up simultaneously, like as this."

As Meitei agitate to raise chopstix, those long fellows in an array hunged high up into the air or upper atmosphere. Meitei maintain it were about sufficient and look down. There he find the tails of dozen or so of wermicelli in bottom screen of steaming basket, tortuously winding as snakes.

"These are too long. Madam, do you see how wery long they are?"

He request this wish for refrain:

"Are they not long, though?"

Exclaim Mrs. and answer Meitei:

"You soak one-third of this and eat it in a mouthful. No, you most distinctly should not agitate to chew or masticate them. Just let them slide down you throat softly and there lies the joy of eating buckwheat wermicelli."

Now he raise them all up as high as his mind seemed to dictate and the wermicelli leave the ground hardly.

MORE OF THIS NEXT SATERDAY.